



POWER-POLE

MOVE

BRUSHLESS TROLLING MOTOR

ZR

取付・使用説明書

MODEL NUMBERS

MV-ZR-45-BK	MV-AC-FOOT-PDL
MV-ZR-52-BK	MV-AC-FS-ANCHOR
MV-ZR-60-BK	MV-AC-FS-HEAD
MV-ZR-45-WT	MV-AC-FS-REV
MV-ZR-52-WT	MV-AC-INFO-DSPY
MV-ZR-60-WT	MV-AC-RC-REMOTE

Powered by  **C-MONSTER**
CONTROL SYSTEM

MOVE™のご購入ありがとうございます。

シャローウォーターアンカーの本家Power-Pole® 初の
トローリング モーターです。



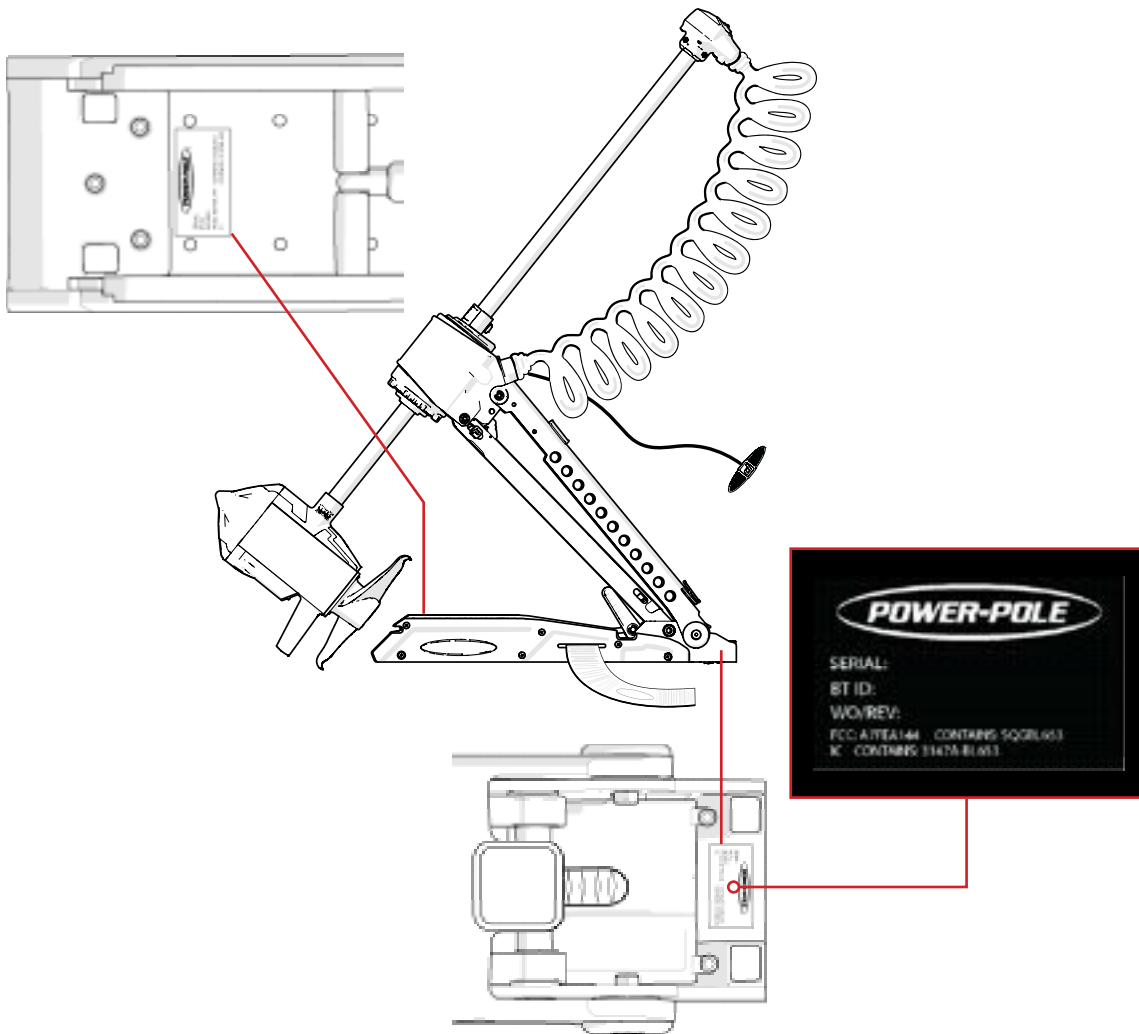
目次

MOVEを登録する.....	4
保証について.....	5
安全に関する重要事項.....	6
MOVEを取り付ける	
パーツリスト.....	7
取り付け位置を決める.....	10
MOVE ZRを取り付ける.....	11
トランスデューサーケーブルを通す.....	14
REAL-FEEL™ ワイヤレスフットペダルを取り付ける.....	15
ワイヤレス情報ディスプレイを取り付ける.....	17
ワイヤレス・ハイブリッド・リモート充電ドックを取り付ける.....	19
ワイヤレス・フットボタンを取り付ける.....	21
MOVEを接続する	
接続に関する重要事項.....	23
24V 配線.....	24
36V 配線.....	25
MOVEを操作する	
トローリングモーター用語.....	26
収納、展開、調整.....	27
機能の概要.....	29
ナビゲーションヘッドLED.....	30
MOVE リモコンの使用.....	30
REAL-FEEL™ フットペダルを使用する.....	32
フットボタンを使う.....	33
フットボタン電池の交換.....	34
情報ディスプレイの見方.....	34
Power-Pole アプリ.....	35
メンテナンスと保管.....	36
よくある質問.....	38
付録	
付録A: ゲルコートに穴を開ける方法.....	40
付録B: ワイヤ接続方法・取り外し方.....	40
付録C: タイダウン・ストラップで設置する.....	41
付録D: 追加製品情報.....	42
付録E: エラーコードと更新時のLEDの色.....	43
付録F: 初期起動手順と推奨事項.....	45

MOVE™を登録する

シリアルナンバーを確認する

シリアルナンバーのラベルは2つあり、ひとつはフロントバンパーの後ろに、ベース基盤の横にある2つのリアバンパーの間にあります。



MOVEを登録しましょう

Power-PoleアプリでMOVEを登録するか、www.power-pole.comにアクセスしてアカウントを作成してください。

保証について



認定保証センターについては、www.power-pole.jpにアクセスしてください。

MOVEには、シャフトには生涯保証、その他すべてのコンポーネントには3年間の保証が付いています。

この保証の条件

JL Marine Systems, Inc. によって製造された Move ユニットの、次の規定に従って、最初の購入日から、最初のエンドユーザーに対して、材料および製造上の欠陥に対して保証されます。

1. MOVE 保証は、Power-Pole.jpにアクセスし、オンラインで登録していただくとう有効になります。販売店の領収書/購入証明を保管してください。
2. オプションパーツはパワーポール製品のみを取り付けてください。認可されていない部品を使用または取り付けた場合、この保証は無効になります。
3. この保証は、Move が本来の使用目的以外に使用された場合や、構造的に変更された場合、またはインパクトダメージや物理的限界を超えるストレスを受けた場合には無効になります。
4. この保証は、長時間にわたり限界値を超えるような使用方法をした場合も適用されません。

送料

1. 購入日から (90) 日以内に欠陥があることが判明した部品については、JL Marine Systems, Inc. がその費用を負担します。
2. 購入日から (90) 日後から (12) か月までの間に欠陥があることが判明した部品を無償提供します。
ただし指定するパワーポール代理店またはパワーポールジャパンへの送料がかかる場合があります。
3. 12 か月後に欠陥が判明した部品も、無償でパーツ交換されます。
ただし指定するパワーポール代理店またはパワーポールジャパンへの送料がかかる場合があります。

ここに記載されている保証は、JL Marine Systems, Inc. による排他的保証であり、特定の目的への適合性、またはそのようなトロローリング モーターに関する商品性の保証を含め、明示または黙示を問わず、その他の保証はありません。JL Marine Systems, Inc. 及びパワーポールジャパン(有限会社ドリームアシスト)は、この製品の使用に起因するいかなる怪我または事故についても責任を負いません。この製品のユーザーは、想定されるリスクを認識し、JL Marine Systems, Inc. およびパワーポールジャパン、またその代理人に対するすべての請求を放棄します。

この保証は、通常の使用条件下で適用されます。

保証の対象とはならないもの:

- 1) 不適切な組み立てまたは分解に起因する欠陥
- 2) 製品の改造、意図的な損傷、事故、誤用、乱用、過失、または腐食性要素への暴露により購入後に発生した欠陥
- 3) 外観上の損傷
- 4) 人件費または組み立て費用

ここに記載されている場合を除き、JL Marine Systems, Inc. およびパワーポールジャパンは、商品性または特定の目的への適合性の黙示の保証を含む、明示的な保証も黙示的な保証も行わず、その保証は書面に設定されている限定保証の期間に限定されます。本書に記載されている場合を除き、JL Marine Systems, Inc. 及びパワーポールジャパンは、製品の使用によって直接的または間接的に引き起こされた、または引き起こされたと主張されている責任、損失、または損害に関して、購入者またはその他の個人または団体に対して責任を負わないものとします。偶発的または必然的な損害を含みますが、これらに限定されません。

Move で問題が発生した場合は、カスタマーサービス(029-994-2041) にお電話ください。より良いサービスを受けるために、Move のシリアル番号をご用意ください。

安全にお使いいただくための重要事項

この取付・使用説明書をよくお読みください。すべての指示に従い、すべての安全および注意事項に注意してください。このモーターの使用は、これらの説明を読んで理解したお客様のみ許可されています。未成年者は、大人の監督下でのみ、このモーターを使用できます。



- **お客様は、船舶の安全かつ慎重な運航に責任を負います。**

MOVE トローリング モーターは、ボートの操作性を向上させ、魚をキャッチする能力を向上させる高性能ツールとして設計されました。この製品は、ボートの安全な運航に対する責任を免除するものではありません。航行上の危険を回避し、状況が進展したときに対応できるように常に監視を維持する必要があります。ボートを手動で制御できるように常に準備しておく必要があります。危険物や障害物のない場所で MOVE トローリング モーターの操作方法を学んでください。

- **回転するプロペラによって怪我をする可能性があるため、モーターを水中以外で稼働させないでください。**

モーターは、使用していないときや水から出ているときは、電源から外してください。モーターの電源ケーブルをバッテリーに接続するときは、ケーブルがよじれたり擦り切れたりしていないことを確認し、人がつまずくことのないように配線してください。モーターを使用する前に、電源ケーブルの絶縁体が損傷していないことを確認してください。これらの安全上の注意を無視すると、バッテリーやモーターの電気ショートが発生する可能性があります。プロペラを清掃または点検する前に、必ずモーターをバッテリーから外してください。コントロール ヘッドとシャフトから下部ユニットに水が入る可能性があるため、モーター全体を水に浸さないでください。

- **あなた自身も他の人も回転中のプロペラに体の一部や物体を近づけすぎないように注意してください。**

モーターは強力なため、あなたを危険にさらしたり、あなたや他の人に怪我をさせたりする可能性があります。モーターの作動中は、泳いでいる人や浮遊物に注意してください。モーターを作動させる能力がない人、またはアルコール、薬物、薬物、またはその他の物質によって反応が損なわれている人は、このモーターを使用することはできません。このモーターは強い流れの中での使用には適していません。

- **モーターを収納または展開するときは、すべてのヒンジ、ピボット ポイント、およびすべての可動部品に指が触れないように注意して下さい。**

予期しない動作が発生した場合は、バッテリーから電源リードを取り外してください。

- **Move トローリングモーターには、JL Marine が承認したアクセサリのみを使用することをお勧めします。**

モーターの取り付けや制御などに承認されていないアクセサリを使用すると、損傷、モーターの予期せぬ動作、怪我を引き起こす可能性があります。製品およびリモコンなどの承認されたアクセサリは、偶発的または予期しないモーターの動作を避けるためにされた方法で安全に使用してください。モーターと付属品のカバー、エンクロージャ、ガードを含む、工場での取り付けられたすべての部品を所定の位置に保管します。

MOVE ZRの設置

箱の中身

MOVEは箱から出してすぐに取り付けられる状態で出荷されます。複雑な組み立ては必要ありません。

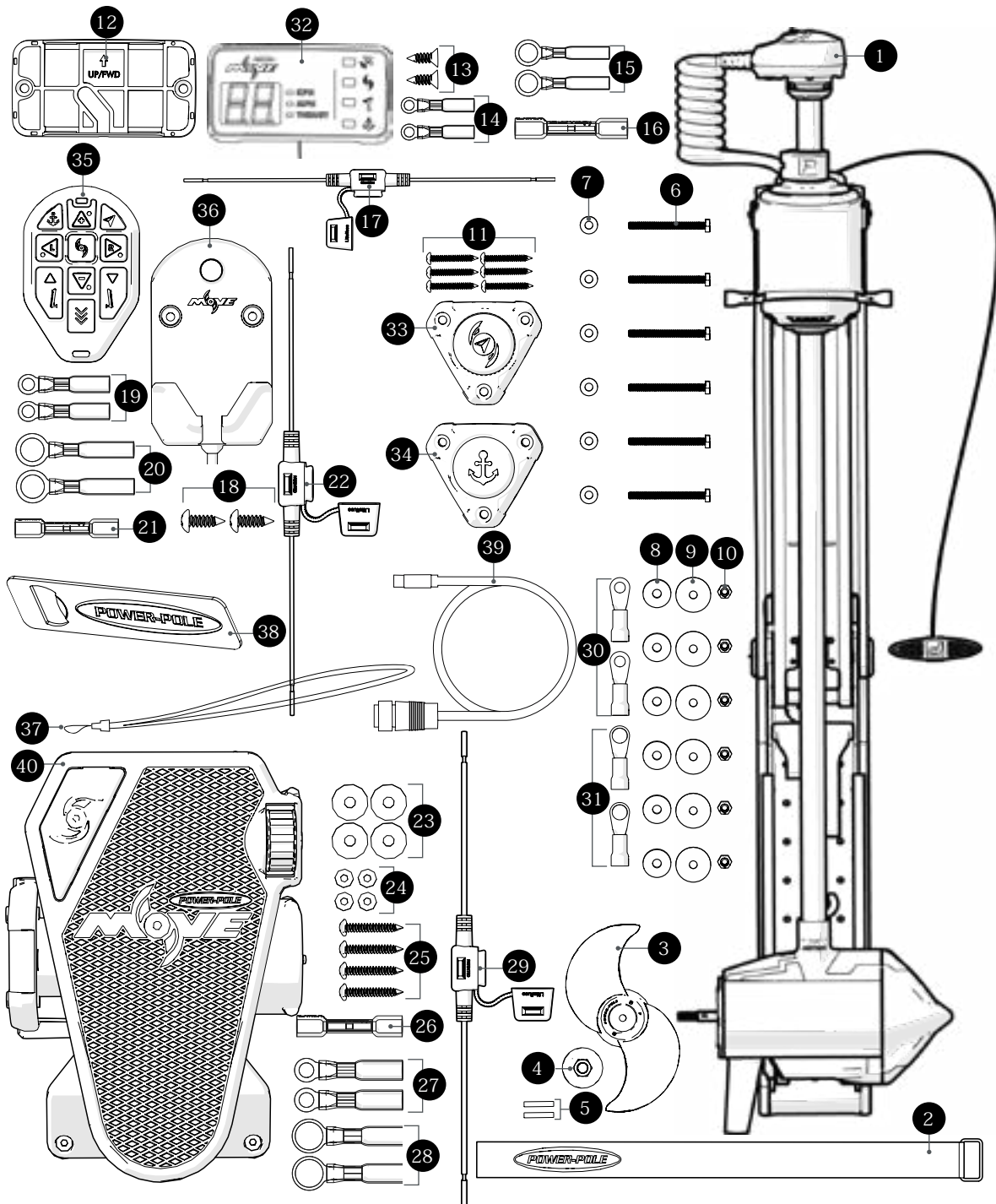
パーツリスト

ラベル	説明	数量
1	トルーリングモーター本体	1
2	タイダウンストラップ	1
3	TECHFLOW™ プロペラ	1
ブロップ・ナット・キット (SA-0041)		
4	ナット、ナイロン製ロックングアノード、3/8-24、アセンブリ	1
5	シャーピン	2
MOVE ZR 取り付け金具キット (AVG-MA-0497)		
6	1/4" x 20、2 3/4" ステンレス フルスレッド 六角ボルト	6
7	1/4" 小型ステンレス フラット ワッシャー (小)	6
8	1/4" ラバー ワッシャー	6
9	1/4" 大型ステンレス フラット ワッシャー (大)	6
10	1/4" 真鍮性 ナイロン ロック ナット	2
MOVE ZR アクセサリー マウンティング キット (AVG-MA-0535) *(1) AVG-MA-0534、(1) AVG-MA-0533、(1) AVG-MA-0532、(1) AVG-MA-0536を含む		
11	ワイヤレスフットボタン取り付けネジ	6
ワイヤレス 情報ディスプレイ ハードウェアキット (AVG-MA-0534)		
12	ワイヤレス情報ディスプレイ ベース	1
13	平頭プラスネジ	2
14	熱収縮リング端子 18-22 AWG, #10	2
15	熱収縮リング端子 18-22 AWG, 3/8"	2
16	熱収縮バット端子 18-22 AWG	1
17	ヒューズホルダー ATC、ATO 18 AWG、及び赤色リード線	1
ワイヤレスハイブリッドリモート充電クレードルハードウェアキット (AVG-MA-0533)		

パーツリスト

ラベル	説明	数量
18	#8 x 1/2" ナベ小ネジ	2
19	熱収縮リング端子 18-22 AWG, #10	2
20	熱収縮リング端子 18-22 AWG, 3/8"	2
21	熱収縮リング端子 18-22 AWG	1
22	ヒューズホルダー ATC, ATO 18 AWG, 赤色リード線	1
REAL-FEEL™ ワイヤレスフットペダルキット(AVG-MA-0532)		
23	1/4インチ厚ゴムブッシング	4
24	小型ステンレスワッシャー	4
25	#10 x 1 1/4" 平頭ネジ	4
26	熱収縮バットコネクタ, 14-16 AWG	1
27	熱収縮リング端子、14-16 AWG, #10	2
28	熱収縮リング端子、14-16 AWG, 3/8"	2
29	ヒューズホルダー、ATC、ATO、14 AWG、赤リード	1
ムーブ配線キット(AVG-MA-0536)		
30	熱収縮リング端子、8 AWG, 1/4"	2
31	熱収縮リング端子、8 AWG, 3/8"	2
追加アクセサリ		
32	ワイヤレス情報ディスプレイ	1
33	アクティブ ヘディングモード ワイヤレス フットボタン	1
34	アンカーモード ワイヤレス フットボタン	1
35	ワイヤレス ハイブリッドリモコン	1
36	ワイヤレス ハイブリッドリモコン充電クレードル	1
37	ストラップ	1
38	ペアリングマグネット	1
39	ローランストランスデューサー アダプター ケーブル (トランスデューサー付きユニットのみ)	1
40	REAL-FEEL™ ワイヤレス フットペダル	1

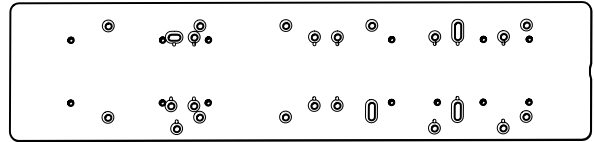
パーツリスト



取り付け場所の選択

重要! これらの取り付け手順はデッキへの取り付け手順です。ユニバーサルマウントプレートを使用して取り付ける場合は、ユニバーサルマウントプレートに付属の説明書に従ってください。

MOVE™には、デッキマウントに必要なすべての取り付けハードウェアが含まれています。既存の穴があるボートに取り付ける場合は、ほとんどのトローリングモーターのドリルパターンに適合し、ボートにさらに穴を開けることなく取り付けすることができるユニバーサルマウントプレートの使用を検討してください。

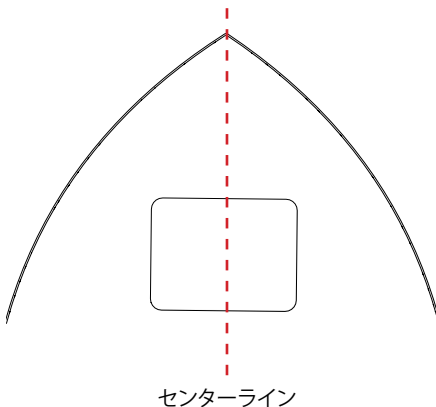


ユニバーサルマウントプレート

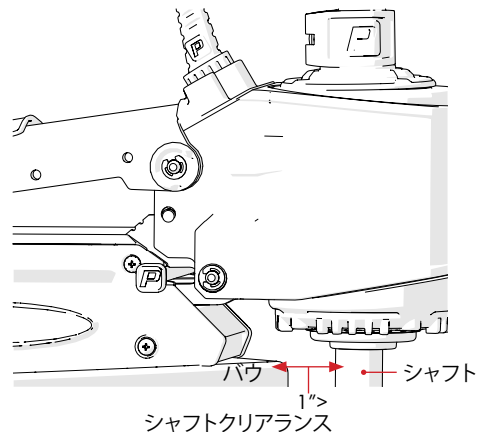
トローリングモーターをボートのデッキに直接取り付けるには、以下の要件を読み、このマニュアルの「MOVE ZR の取り付け」セクション (11 ページ) に記載されている手順に従ってください。

適切な取り付け場所を見つけるには、次のパラメータを使用します。

- 展開時には、シャフトはポートデッキの中心線にできるだけ近くなるようにする必要があります。
- 取り付け金具が取り付けられるポートデッキの上または下に障害物や敏感な部品がないことを確認してください。
- ガンネル/ラブレールを損傷しないため、展開時には、シャフトがポートのガンネル/ラブレールから少なくとも1インチ離れた位置にあるのが最適です。
- トローリングモーターが完全に展開および格納されるのを妨げる障害物がないことを確認します。
- 湾曲したポートデッキに取り付ける場合は、モーターとデッキの間にゴムワッシャー **8** が使用されていることを確認してください。



センターライン



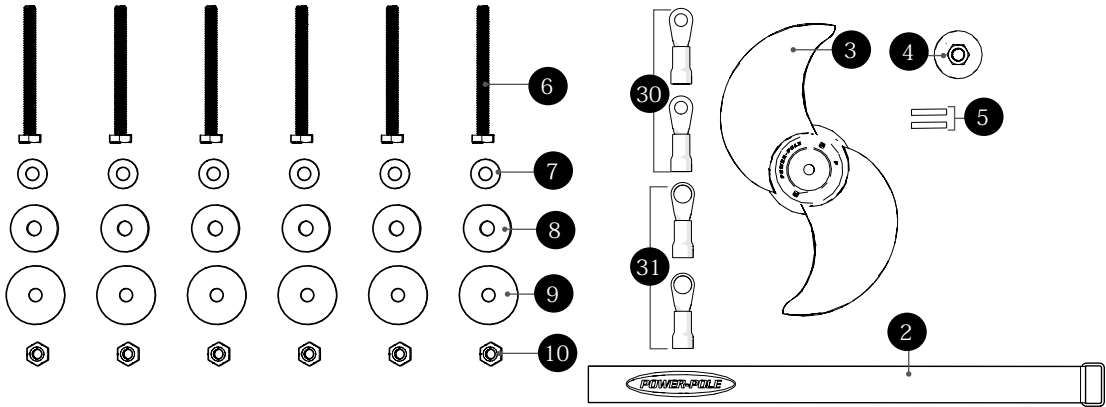
MOVE ZRの取り付け

ツール

- 細字マーカー
- 9/16インチソケット
- 7/16インチソケット
- 7/16インチレンチ
- ラチェット
- 電動ドリル
- 5/16" ドリルビット
- ケーブルタイ(トランスデューサ付きユニット用)

LABEL	DESCRIPTION	QTY.
6	1/4" x 20, 2 3/4" ステンレス フルスレッド 六角ボルト	6
7	1/4" 小型ステンレスフラットワッシャー	6
8	1/4" ラバーワッシャー	6
9	1/4" 大型ステンレス フラットワッシャー	6
10	1/4" 真鍮製 ナイロンロックナット	6
30	熱収縮リング端子, 8 AWG, 1/4"	2
31	熱収縮リング端子, 8 AWG, 3/8"	2
3	TECHFLOW™ プロペラ	1
4	ナット, ナイロンロックアノード, 3/8-24, アセンブリ	1
5	シャーペン	2
2	タイダウストラップ	1

取り付け金具



注意: 付録C (42ページ)またはオプションのタイダウストラップ 2 の取り付け手順に従ってください。

MOVE ZRの取り付け



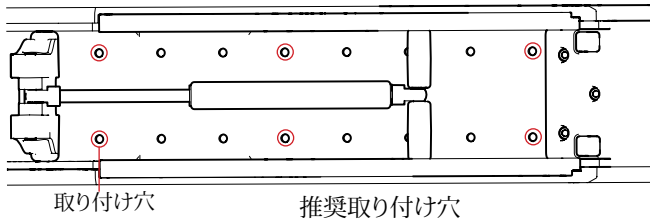
インストールを実行する前に、必ずメイン バッテリー カットオフ スイッチをオフの位置に切り替えて電源を切ってください。

パイロット穴をあける

ステップ 1 「取り付け場所の選択」を読み、それらのパラメータに基づいて取り付け場所を決定したら、付属のドリルテンプレートを使用して取り付け穴をマークします。

ボルト 6 を6本すべて使用し、できるだけ遠くまで広げる必要があります。

ステップ 2 5/16"のドリルビットを使用して下穴を開けます。



MOVEを設置する場所の下をチェックして、ホース、ワイヤー、ライン、タンク、その他の高感度なパーツがないことを確認します。

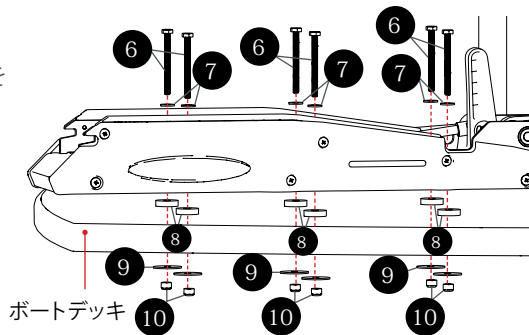
重要! ゲルコートに取り付ける場合は、付録 A (41 ページ) の穴あけ手順に従って、ゲルコートが割れたり欠けたりしないようにしてください。

ハードウェアのインストール

トローリング モーター ベースを取り付け穴に合わせます。7/16" ソケットとレンチを使用して取り付けハードウェアを順番に取り付ける間、誰かにトローリングモーターを所定の位置に保持してもらいます。

ハードウェアをしっかり締めます。

1. (6) ボルト 6
2. (6) 1/4" フラットワッシャー 7
3. (6) ラバーワッシャー 8 (必要な場合のみ)
4. ボートデッキ
5. (6) 大型ワッシャー 9
6. (6) ナイロン ロックナット 10



平らでない、または船首/曲線のあるボートデッキに取り付ける場合は、ワッシャー 8 を使用する必要があります。

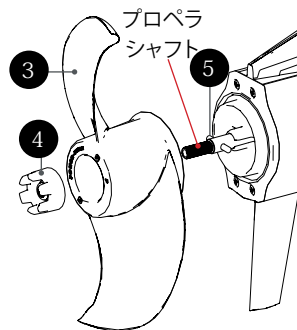
MOVE ZRの取り付け

TECHFLOW™プロペラを取り付ける



MOVEが電源に接続されている状態で、プロペラを取り付けたり取り外したりしないでください。

アノードアセンブリの取り付けにはインパクトレンチを使用しないでください。



ステップ1 プロペラ シャフトの穴にシャープピン 5 を取り付けます。

ステップ2 プロップ 3 の背面のスロットをシャープピン 5 に合わせます。

ステップ3 アノードアセンブリ 4 をプロペラシャフトに取り付け、9/16" ソケットを使用して、遊びのないよう、しっかりと固定します。

電源と繋げる

注意: リング端子とバットコネクタの適切な取り付け手順については、付録 B (41 ページ) に従ってください。

重要! ユニートを電源に接続する前に、「Move の接続」セクション (23 ~ 25 ページ) を必ずお読みください。

ステップ1 電源に配線を繋げます。

ステップ2 ポストのサイズに応じて、適切なリング端子 30 または 31 を取り付けます。

ステップ3 「Move の接続」セクション (23 ページ) に進み、すべての安全上の警告を読み、お客様のトローリングモーターのバッテリー構成に合った接続の手順に従ってください。

トランスデューサーケーブル配線

ステップ 1 トランスデューサケーブルをコイルケーブルの中心に通します。

ステップ 2 トランスデューサケーブルをUチャンネルの側面に沿って配線します。さらに3～4インチのループを残します

重要! トランスデューサケーブルに十分なたるみを持たせないと、ユニットを収納、展開、または完全に回転させたときにケーブルが破損します。

ステップ 3 ケーブルタイを使用して、MFDからのケーブルをUチャンネルの最初の穴に接続します。Uチャンネルの他のすべての穴に対してこのプロセスを繰り返します。

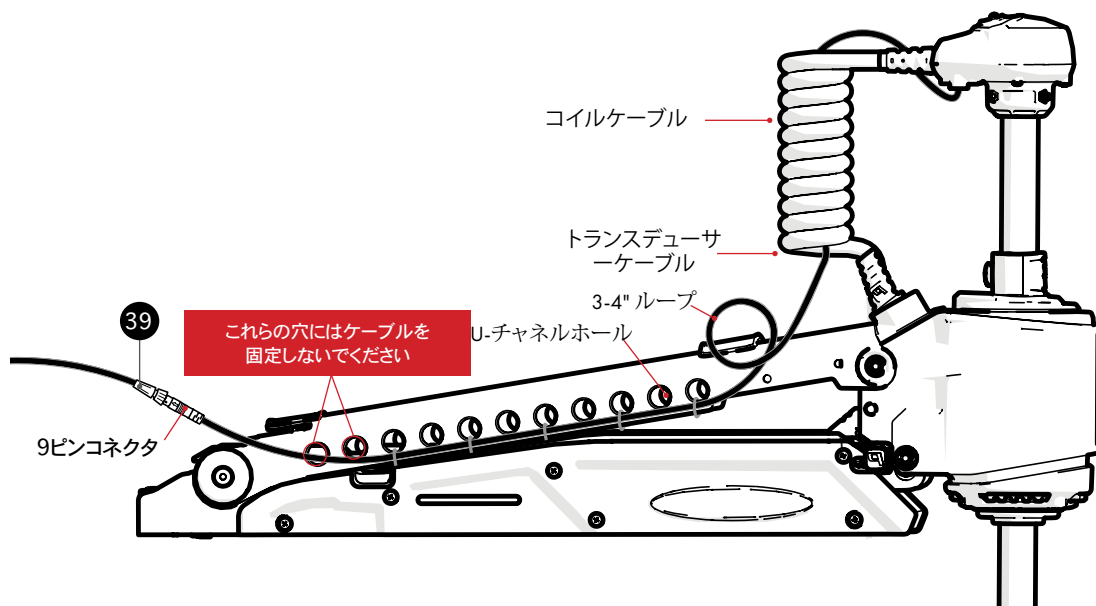
重要! ZR 45モデルの最後の2つの穴、またはZR 52と60モデルの3つの穴にケーブルを接続しないでください。これにより、ZRのロックシステムに悪影響が及ぶ可能性があります。

ステップ 4 MFDからのコネクタをローランストランスデューサアダプタケーブル 39 に接続し、MFDまで配線します。



図のようにトランスデューサケーブルを配線しないと、ユニットの操作時にケーブルが損傷します。

重要! トランスデューサケーブルは、必ずボートの中心線に最も近いユニットの側面に取り付けてください。そうしないと、ケーブルがユニットを横切ることになり、収納時や展開時にケーブルが損傷する可能性があります。



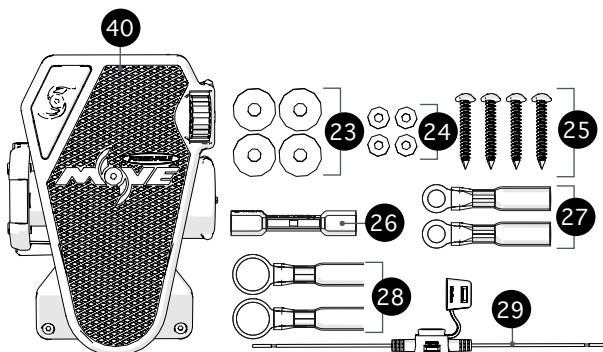
REAL-FEEL™ フットペダルの取り付け

ツール

- 細字マーカー
- 電動ドリル
- 9/64" ドリルビット
- プラスヘッドビット

ラベル	説明	数量
40	REAL-FEEL™ ワイヤレスフットペダル	1
23	1/4" 厚ゴムブッシング	4
24	小型ステンレスワッシャー	4
25	#10 x 1 1/4" パンヘッドシートメタルネジ	4
26	熱収縮バットコネクタ、14-16 AWG	1
27	熱収縮リング端子、14-16 AWG #10	2
28	熱収縮リング端子、14-16 AWG、3/8"	2
29	ヒューズホルダー、ATC、ATO、14 AWG、赤リード線	1

REAL-FEEL™ フットペダルハードウェア



フットペダルを取り付ける場所の下に、ホース、ワイヤー、ライン、タンク、その他の高感度なパーツがないことを確認します。

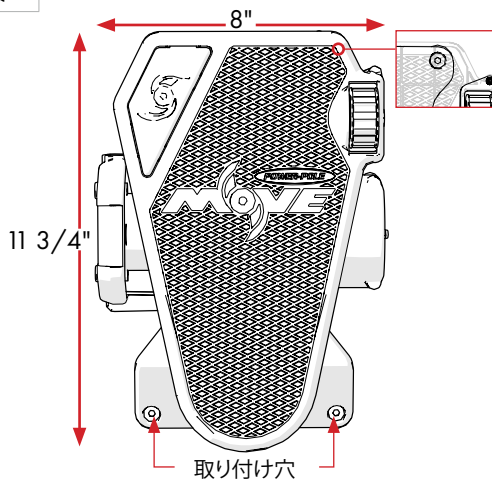
寸法	コードの長さ	ワイヤゲージ	ヒューズサイズ
8" x 11 3/4"	~5'	14 AWG	3 アンペア ミニ

重要! ゲルコートに取り付ける場合は、付録A (41ページ) の穴あけ手順に従って、ゲルコートが割れたり欠けたりしないようにしてください。

取り付け穴を開ける

ステップ1 十分なスペースのある平らな場所を選び、フットペダル 40 を取り付ける。

ステップ2 付属の取り付け用テンプレートを使用して、9/64"ドリルビットで取り付けネジ 25 用のパイロット穴4箇所をマークして開けます。

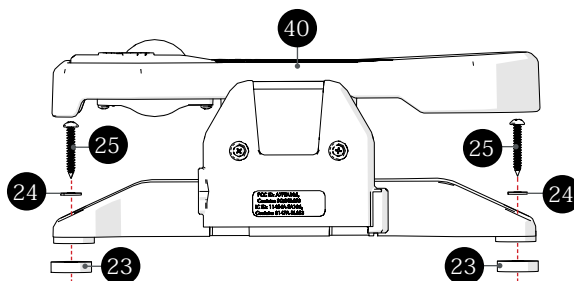


REAL-FEEL™フットペダルの取り付け

取り付け金具を取り付ける

#2 プラス ビットと電動ドリルを使用して、取り付けハードウェアを順番に取り付け、しっかりと締めます。

1. #10 x 1 1/4" なベ頭ネジ 4本 25
2. ワッシャー 2個 24
3. フットペダル 40
4. ゴムブッシング4個 23



平らでない、または船首/曲線のあるポートデッキに取り付ける場合は、ワッシャー 23 を使用する必要があります。

電源に接続

注意: リング端子とバットコネクタの適切な取り付け手順については、付録 B (41 ページ)に従ってください。

- ステップ 1 電源に配線を繋げます。
- ステップ 2 バット コネクタ 26 を使用して、ヒューズ ホルダー 29 をフット ペダル 40 からのプラスリード線に取り付けます。
- ステップ 3 ポストのサイズに応じて、適切なリング ターミナル 27 または 28 を取り付けて電源に接続し、**プラス (+)**リード線をプラス ポストに、**マイナス (-)**リード線をマイナス ポストに接続します。

注意: すべての Move アクセサリは、12V、24V、および 36V システムと互換性があります。

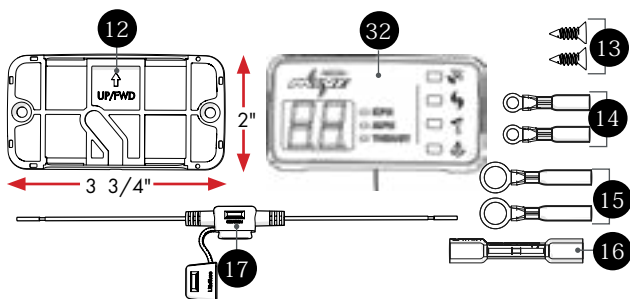
ワイヤレス情報ディスプレイの取り付け

ツール

- ・ 細字マーカー
- ・ 電動ドリル
- ・ 7/32" ドリルビット
- ・ 7/64" ドリルビット
- ・ プラスヘッドビット

ラベル	説明	数量
12	ワイヤレス情報ディスプレイベース	1
32	ワイヤレス情報ディスプレイ	1
13	ネジ、板金、フラットヘッドプラスネジ	2
14	熱収縮リング端子、18-22 AWG、#10	2
15	熱収縮リング端子、18-22 AWG、3/8"	2
16	熱収縮バットコネクタ、18-22 AWG	1
17	ヒューズホルダー、ATC、ATO、18 AWG、赤リード線	1

情報ディスプレイハードウェア

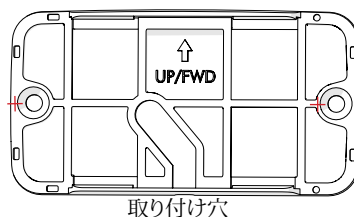


ディスプレイを取り付ける場所の下をチェックして、ホース、ワイヤー、ライン、タンク、その他の高感度なコンポーネントがないことを確認します。

寸法	コードの長さ	ワイヤゲ	ヒューズサイズ
2" x 3 3/4"	~4 ft.	20 AWG	2 アンペア ミニ

取り付け用の穴を開ける

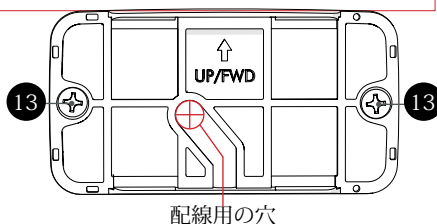
- ステップ 1 情報ディスプレイ (32) を取り付けるのに十分なスペースのある平らな面を選択します。
- ステップ 2 取り付けテンプレートをご希望の取り付け位置に置き、7/64"ドリルビットを使用して取り付けネジ (13) 用のパイロット穴を開けます。



重要! ゲルコートに取り付ける場合は、付録 A (41 ページ) の穴あけ手順に従って、ゲルコートが割れたり欠けたりしないようにしてください。

推奨される設置方法 (ポートを通した配線の場合)

- ステップ 1 #2 プラスドライバーを使用して、ネジ (13) 2本を面まで締めます。
- ステップ 2 ポートの表面を通してワイヤーを配線する場合は、7/32"ドリルビットを使用して配線の穴を開けます。

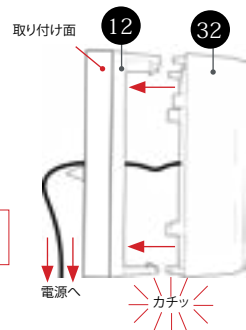


ワイヤレス情報ディスプレイの取り付け

ディスプレイの取り付けと接続

(ポートを通して配線する場合)

穴にワイヤーを通し、情報ディスプレイ ③② を所定の位置にカチッとはめ込みます。

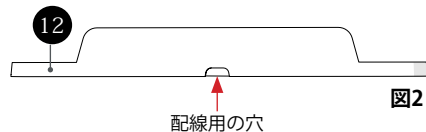
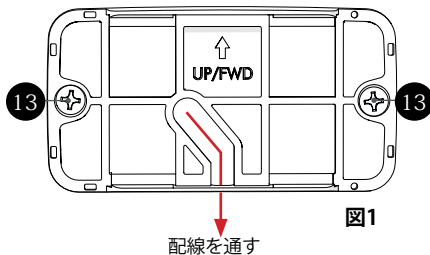


重要! ディスプレイは一度所定の位置に固定されると、取り外すことはできません。

配線の代替案 (ベースを通しての配線)

ステップ 1 #2プラスドライバーを使用して、ベースを少し持ち上げることができるように、ネジ ③⑬ (2本) を半分ほど取り付けます。 図1

ステップ 2 ベース ③⑫ を持ち上げて、ディスプレイワイヤーをベース ③⑫ の底部の穴に通します。 図1・2

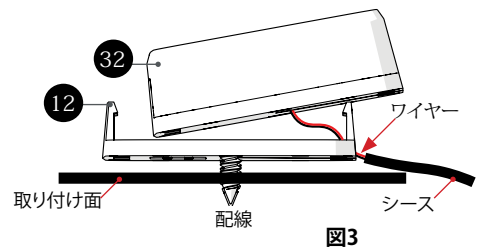


ベース ③⑫ (底から見た図)

ステップ 3 ワイヤーをベース ③⑫ に完全に通して、シースがベース ③⑫ から完全に出来るまで引きます。 図3

ステップ 4 ネジ ③⑬ をしっかりと締め、シースが取り付け面とベース ③⑫ の間に挟まれないようにします。

ステップ 5 情報ディスプレイ ③③② を所定の位置にカチッとはめ込みます。



電源に接続する

注意: リング端子とバットコネクタの適切な取り付け手順については、付録 B (41ページ)に従ってください。

ステップ 1 電源に配線を配線します。

ステップ 2 バットコネクタ ③⑯ を使用して、ヒューズホルダー ③⑰ をディスプレイ ③③② のプラスリード線に接続します。

ステップ 3 ポストのサイズに応じて、リング端子 ③⑭ または ③⑮ を取り付け、電源に接続します。(プラス (+) はプラスのポストに接続し、マイナス (-) はマイナスのポストに接続)

注意: すべての Move アクセサリは、12V、24V、および 36V システムと互換性があります。

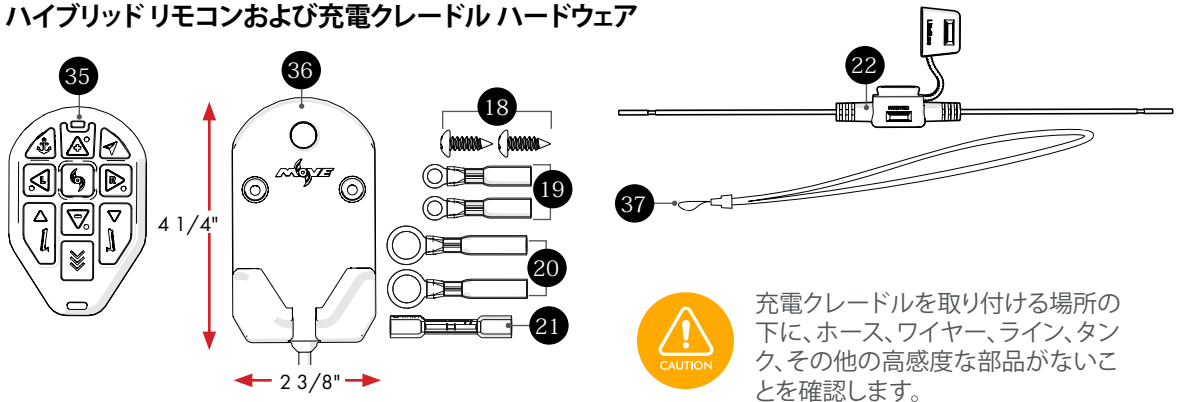
リモート充電クレードルの取り付け

ツール

- 細字マーカー
- 電動ドリル
- 7/32"ドリルビット
- 7/64"ドリルビット
- #2 プラスビット

ラベル	説明	数量
35	ワイヤレス ハイブリッド リモコン	1
36	ワイヤレス ハイブリッド リモコン 充電クレードル	1
18	#8 x 1/2" なべ頭シートメタルネジ	2
37	ランヤード	1
19	熱収縮リング端子、18-22 AWG、#10	2
20	熱収縮リング端子、18-22 AWG、3/8"	2
21	熱収縮バットコネクタ、18-22 AWG	1
22	ヒューズホルダー、ATC および ATO 18 AWG、赤リード線	1

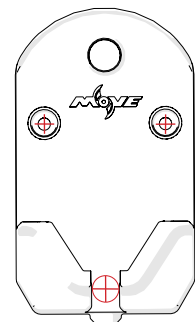
ハイブリッドリモコンおよび充電クレードル ハードウェア



寸法	コードの長さ	ワイヤゲージ	ヒューズサイズ
2 3/8" x 4 1/4"	~4 ft.	20 AWG	2 Amp Mini

取り付け穴を開ける

- ステップ 1 充電クレードル (36) を取り付けるのに十分なスペースのある平らな面を選択します。
- ステップ 2 取り付けテンプレートを所定の位置に置き、7/32 インチのドリルビットを使用して電源ケーブル用の配線穴をマークして開けます。
- ステップ 3 7/64"ドリルビットを使用して、ネジ (18) の取り付け穴をマークして開けます。

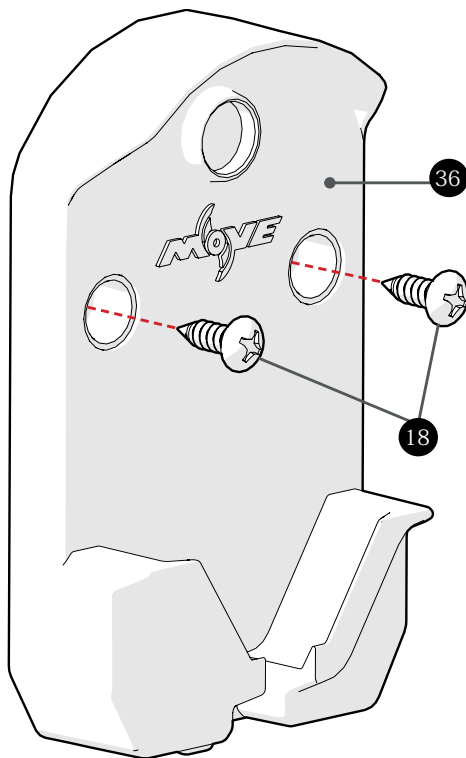


重要! ゲルコートに取り付ける場合は、付録 A (41 ページ) の穴あけ手順に従って、ゲルコートが割れたり欠けたりしないようにしてください。

リモート充電クレードルの取り付け

充電クレードルを取り付ける

#2 プラスドライバーを使用して、#8 x 1/2" ネジ⑬ 2本を取り付け、しっかりと締めます。



電源に接続する

注意: リング端子とバットコネクタの適切な取り付け手順については、付録 B (41ページ)に従ってください。

ステップ 1 電源に配線を繋げます。

ステップ 2 バットコネクタ⑳ を使用して、ヒューズホルダー㉒ を充電クレードル㉓ のプラス (+) リード線に取り付けます。

ステップ 3 ポストのサイズに応じて、適切なリング端子㉑ または㉒ を取り付け、プラス (+) リード線をプラス ポストに、マイナス (-) リード線をマイナス ポストに接続して電源に接続します。

注意: すべての Move アクセサリは、12V、24V、および 36V システムと互換性があります。

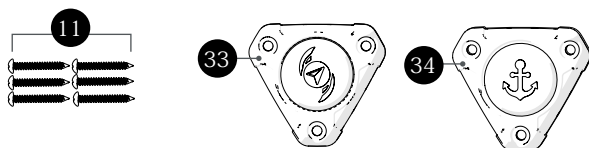
フットボタンの取り付け

ツール

- 細字マーカー
- 電動ドリル
- 7/64"ドリルビット
- #2 プラスドライバー

ラベル	説明	数量
11	#8 x 1 1/4" なべ頭板金ネジ	6
33	アクティブ ヘディング ワイヤレス フットボタン	1
34	アンカーモード ワイヤレス フットボタン	1

フットボタン ハードウェア

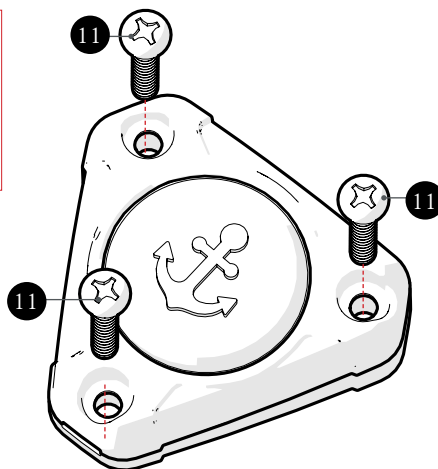
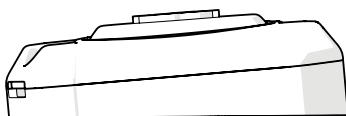


ワイヤレス フット ボタンを取り付ける場所の下に、ホース、ワイヤー、ライン、タンク、その他の高感度な部品がないことを確認して下さい。

- ステップ 1 フット ボタンを取り付けるのに十分なスペースがある平らな面を選択します。
- ステップ 2 先端の細いマーカーを使用して、印を付けて穴を開けます。
- ステップ 3 7/64"ドリル ビットを使用して取り付け穴を開けます。
- ステップ 4 ネジ 11 3本を取り付け、#2プラスドライバーを使用してしっかりと締めます。

重要! ゲルコートに取り付ける場合は、付録 A (41ページ) の穴あけ手順に従って、ゲルコートが割れたり欠けたりしないようにしてください。

注意: 低くなっている側がユーザー側です。





MOVEを接続する

すべてのMOVEモデルは24ボルトと36ボルトのシステムで動作するように設計されており、お使いのバッテリー設定に自動的に調整されます。

取り付ける前にお読み下さい

- MOVE はすべてのタイプのバッテリーと互換性があります。ただし、最良の結果を得るには、ディープサイクルマリンバッテリーを使用してください。
- バッテリーの寿命を延ばし、バッテリーの故障を防ぐには、使用後 12 ~ 24 時間以内に充電してください。
- トローリングモーターバッテリーと併用して Power-Pole CHARGE を使用すると、パフォーマンスがさらに長持ちします。
- 取り付ける前に、すべてのバッテリー端子が清潔で腐食していないことを確認してください。



同じバッテリーのプラス (+, POS) 端子とマイナス (-, NEG) 端子を絶対に繋げないでください。

金属物がバッテリーの上に落ちて端子がショートしないように注意してください。バッテリーやその他の電気部品に火花やショートが発生し、爆発を引き起こす可能性があります。

安全上の理由から、プロペラが水中に入るまでトローリングモーターをオンにしないでください。

- 安全上の理由から、モーターを使用していないときやバッテリーを充電しているときは、トローリングモーターをバッテリーから外してください。
- トローリングモーターを 24/36 ボルト システムに不適切に接続すると、バッテリーが爆発する可能性があります。
- リード線の接続がバッテリー端子にしっかりと固定されていることを常に確認してください。
- バッテリーは必ず通気性の良い場所に保管してください。



トローリングモーターへの損傷や保証の無効を避けるため、トローリングモーターをバッテリーに接続する前に、次の情報をお読みください。

これらのガイドラインは、Power-Pole MOVE トローリングモーターをサポートするための一般的なリギングに適用されます。同じ電源回路から複数のモーターや追加の電気機器に電力を供給すると、推奨される導体ゲージと回路ブレーカーのサイズに影響する可能性があります。配線延長の長さが25フィートを超える場合は認定保証センターまたはカスタマー サービスにお問い合わせいただくことをお勧めします。

過電流保護装置 (ブレーカーまたはヒューズ) を使用する必要があります。沿岸警備隊の要件では、アースされていない電流を流す導体はすべて、手動でリセットできるトリップフリーのブレーカーまたはヒューズで保護する必要があると規定されています。ヒューズまたはブレーカーのタイプ (電圧と電流定格) は、使用するトローリングモーターに合わせてサイズを調整する必要があります。

24V配線



作業を進める前に、バッテリー コンパートメントを少なくとも 15 分間換気してください。これにより、コンパートメント内に蓄積された可燃性ガスが排出されます。

12Vバッテリー2台を直列に接続した配線

ステップ 1 Move をインストールする前に、23 ページのすべての安全上の警告と注意事項をお読みください。

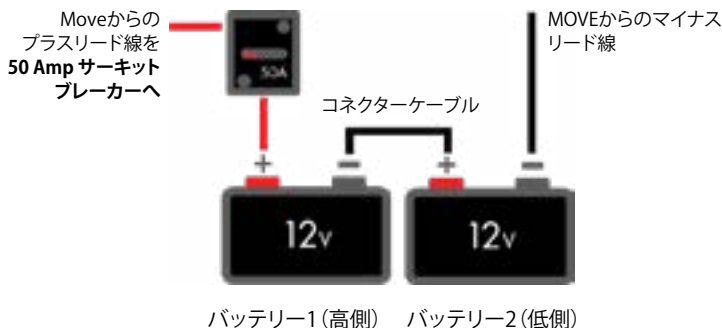
ステップ 2 コネクタ ケーブルをバッテリー1 (高側) のマイナス(-)端子とバッテリー2 (低側) の**プラス (+)**端子に取り付けます。

ステップ 3 Move の**プラス (+)**リード線をバッテリー1 (高側) の**プラス (+)**端子に接続します。



24V セットアップのプラス リード線は、**50Ampのサーキットブレーカー**を介して配線する必要があります。

ステップ 4 Move のマイナス (-)リード線をバッテリー 2 (低側) のマイナス (-)端子に接続します。



24Vリチウムバッテリー1台での配線

注意: Move は、並列に配線された複数の 24V バッテリーに接続することもできます。

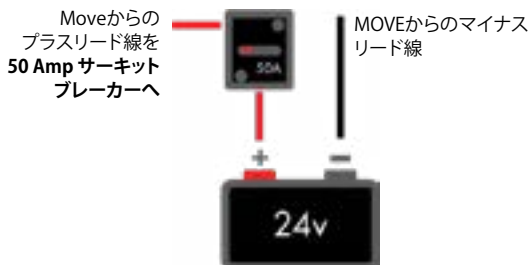
ステップ 1 Move をインストールする前に、23 ページのすべての安全上の警告と注意事項をお読みください。

ステップ 2 Move の**プラス (+)**リード線を**プラス (+)**端子に接続します。



24V セットアップのプラス リード線は、**50Ampのサーキットブレーカー**を介して配線する必要があります。

ステップ 3 Move のマイナス(-) リード線をマイナス (-)端子に接続します。



36V配線



作業を進める前に、バッテリー コンパートメントを少なくとも 15 分間換気してください。これにより、コンパートメント内に蓄積された可燃性ガスが排出されます。

12Vバッテリーを3台 直列に接続した配線

ステップ 1 Move をインストールする前に、23 ページのすべての安全上の警告と注意事項をお読みください。

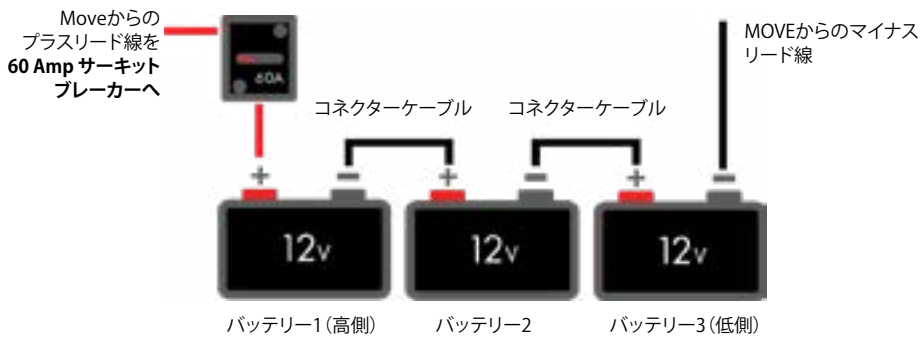
ステップ 2 コネクタ ケーブルをバッテリー1 (高側) のマイナス (-)端子とバッテリー2 の**プラス (+)**端子に取り付けます。別のコネクタ ケーブルをバッテリー2 のマイナス (-)端子とバッテリー 3(低側) の**プラス (+)**端子に取り付けます。

ステップ 3 Move の**プラス (+)**リード線をバッテリー 1 (高側) の**プラス (+)**端子に接続します。



36V セットアップのプラスリード線は、**60 Amp**のサーキットブレーカーを介して配線する必要があります。

ステップ 4 Move のマイナス (-)リード線をバッテリー3 (低側) のマイナス (-)端子に接続します。



36Vリチウムバッテリー1台での配線

注意: Move は、並列に配線された複数の 36V バッテリーに接続することもできます。

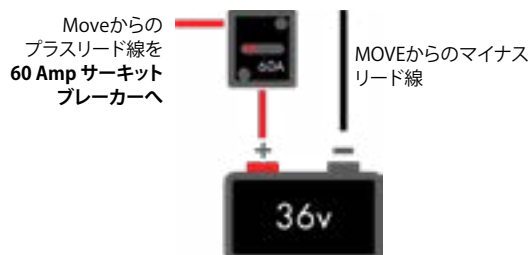
ステップ 1 Move をインストールする前に、23 ページのすべての安全上の警告と注意事項をお読みください。

ステップ 2 Move の**プラス (+)**リード線を**プラス (+)**端子に接続します。別のコネクタ ケーブルをバッテリー



36V セットアップのプラスリード線は、**60 Amp**のサーキットブレーカーを介して配線する必要があります。

ステップ 3 Move のマイナス(-) リード線をマイナス (-)端子に接続します。



MOVEの操作

MOVEの機能、安全な使用、メンテナンスに関する必要な情報はすべてここに 있습니다。ご質問がある場合は、+1 (813) 689-9932 オプション2でカスタマーサービスチームにお問い合わせいただくか、www.power-pole.comをご覧ください。

トロリングモーター用語



モーターを収納または展開するときは、ヒンジ、ピボットポイント、可動部品に指を近づけないでください。怪我を防ぐため、ユニットを収納または展開するときは必ずプルコードを使用してください。

ナビゲーションヘッド

ナビゲーションヘッドには、内部コンパスと、移動ステータス情報を伝える3つのLED (アンカーモード 、ナビゲーションヘディング 、プロップ ) があります。(ナビゲーションヘッド LED 図、30 ページ)

航空宇宙グレードチタンシャフト

チタンシャフトは可能な限り軽量に、そして頑丈にデザインされており、生涯保証がついています。

シャフトクランプ

シャフトクランプで、推進モーターの深さや収納位置をお好みの位置に調整することができます。

タイダウンストラップ

ユニットが収納位置にあるときは、セキュリティストラップがシャフトに巻き付けられ、輸送中や水上での走行中にユニットを安全に保ちます。

Dyneema® スーパーコード

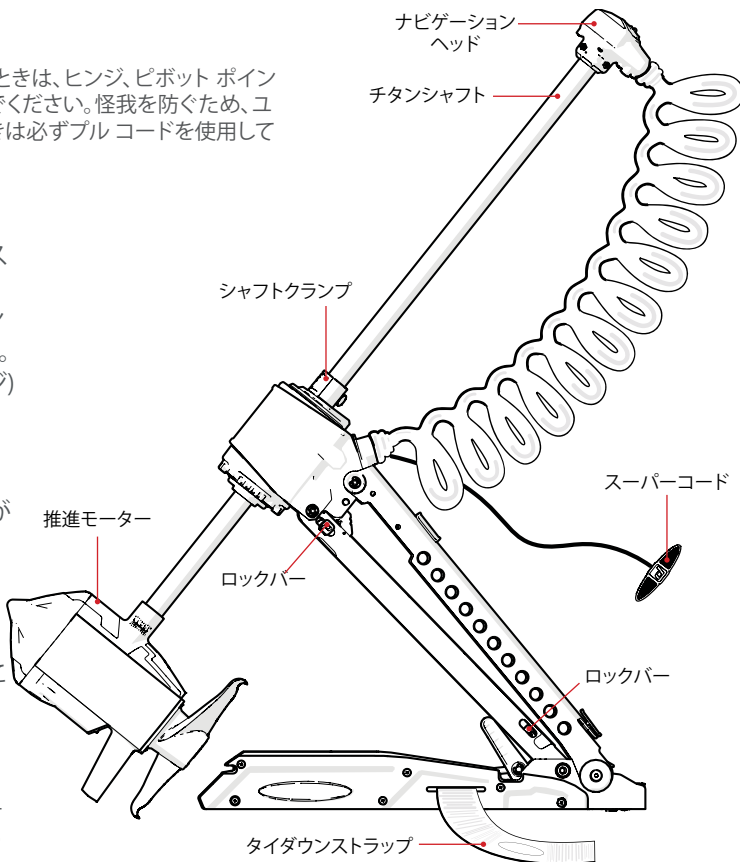
スーパーコードは、トロリングモーターを安全に収納および展開するために使用されます。トロリングモーターが展開位置にあるときに、プルコードを持ち上げるとロックバーが解除され、ユニットを安全に収納できるようになります。

ロックバー

ロックバーは、ユニットを格納位置と展開位置に保持します。ロックバーは下側のアームにあり、ユニットが展開位置にあるときに所定の位置にロックされます。また、スーパーコードが切断された場合にユニットを格納および展開するための補助的な方法も提供します。

推進モーター

推進モーターは、Move の駆動を担います。超静音で効率的なブラシレスモーターを搭載しています。



収納、展開、調整

MOVE ZRの展開



Move を収納または展開するときは、ヒンジ、ピボットポイント、可動部品に指を近づけないでください。怪我を防ぐため、ユニットを収納または展開するときは必ず**スーパーコード**を使用してください。

ステップ 1 必要に応じて、**タイダウンストラップ**を取り外します。

ステップ 2 **スーパーコード**を使ってトローリングモーターを船首まで持ち上げます。トローリングモーターが適切に展開された位置にある場合、**ロックバー**は所定の位置にスライドします。**図1**

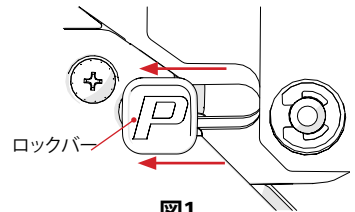


図1
ロックバーの位置



トローリングモーターが適切に展開された位置になるまで、絶対に操作しないでください。

MOVE ZRの収納

トローリングモーターが使用されていないときは、メインモーターを操作しているとき、またトレーラーで牽引しているときでも、トローリングモーターは適切な収納位置に置く必要があります。ユニット、船舶、および/または乗客への損傷を防ぐため、記載されている収納手順とパラメータに従ってください。

重要! 推進モーターは、ゴム製バンパーの平らな部分 (**図2**で緑色で表示) に正しく取り付けられている必要があります。ユニットが正しく取り付けられていない場合は、ユニットを再配置し、28ページの「**移動深度の調整**」に従ってください。

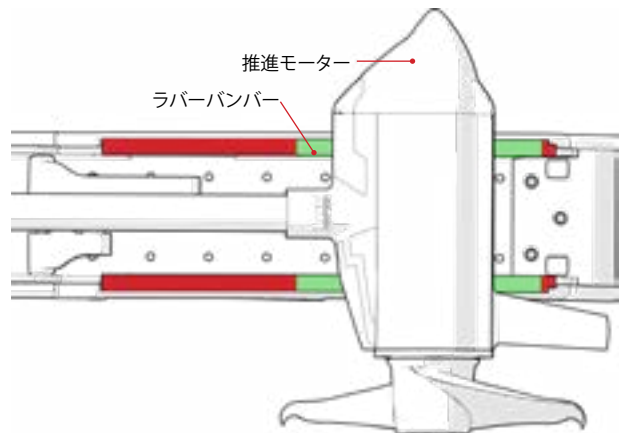


図2
適切な収納位置

ステップ 1 **スーパーコード**を使用して推進モーターを水から持ち上げ、トローリングモーターベースに載せます。

ステップ 2 必要に応じて、**タイダウンストラップ**を取り付けます。**図3**



トローリングモーターをパラメータに従って適切に収納しないと、ユニットのシャフトやその他のコンポーネントが損傷する可能性があります。

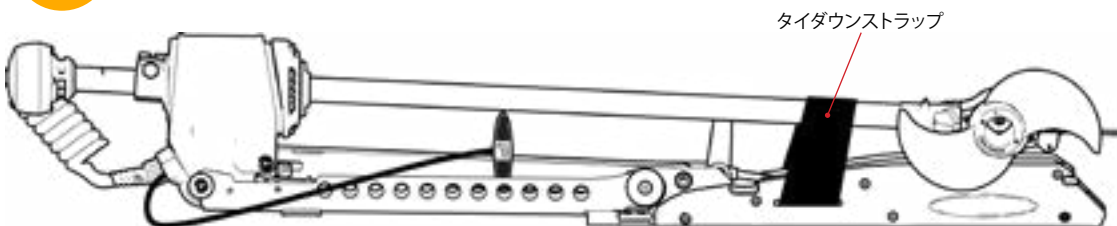


図3
適切に収納されたトローリングモーター

収納、展開、調整

MOVE ZRの深さを調整する



Move を収納または展開するときは、ヒンジ、ピボットポイント、可動部品に指を近づけないでください。怪我を防ぐため、ユニットを収納または展開する。

Move の深さは、適切に収納される位置、または推進モーターが最適なパフォーマンスを発揮できる深さに、シャフトクランプを使用して調整できます。

ステップ 1 シャフトをしっかりと握りながら、クランプハンドルを開きます。



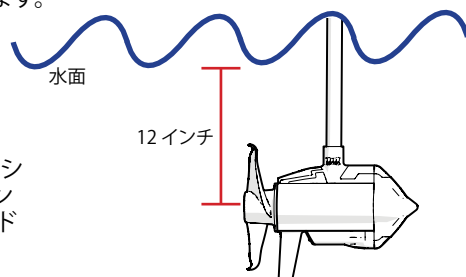
クランプハンドルが開かれると、推進モーターが自由落下し、ナビゲーションヘッドとステアリングモーターハウジングの間に挟まれる危険が生じる可能性があります。

ステップ 2 推進モーターを目的の位置になるまで上下にスライドします。

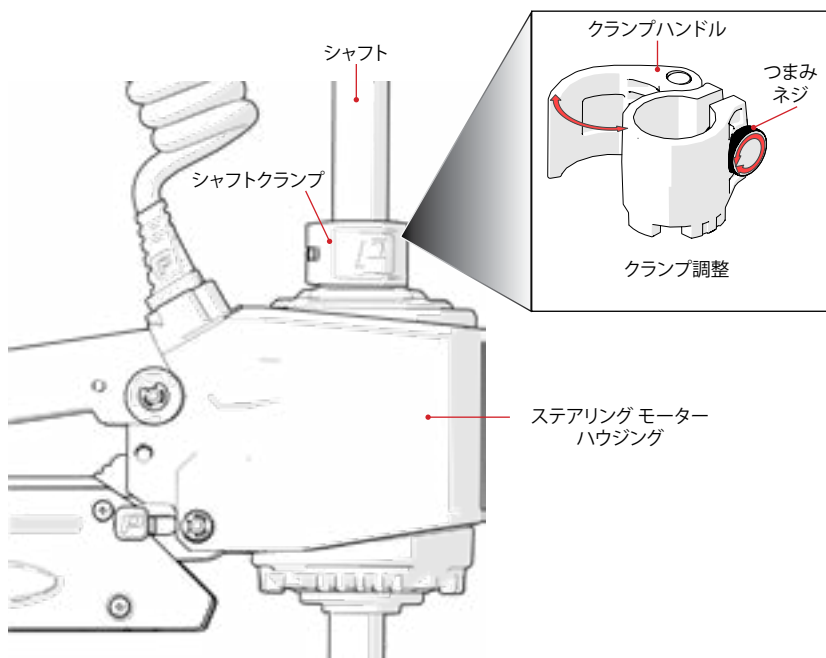
注意: 最適な動作のためには、推進モーターは水面下少なくとも12インチの深さにしてください。

ステップ 3 クランプハンドルを元の位置に戻します。

ステップ 4 クランプハンドルが閉じているときに、シャフトクランプがシャフトを所定の位置に保持せず滑ってしまう場合は、クランプハンドルを開き、つまみネジを締めてからクランプハンドルを閉じます。




重要! シャフトクランプは必ずしっかりと締めてください。そうしないと、ZR は正常に機能しません。



機能の概要

MOVE ZR の機能の用語


アンカーモード

アンカーモードでは、GPS を使用して、水流と風を考慮してボートを所定の位置に保持します。アンカーモードがオンの場合、情報ディスプレイとナビゲーションヘッドのアンカーモード  LED が黄色に点灯します。アンカーモードは、ハイブリッドリモートまたはアンカーモードフットボタンを使用してオン/オフを切り替えることができます。

・アンカージョグ

アンカーモードの場合、ハイブリッドリモコンのオレンジ色の点 (●) が付いたボタンを使用して、移動を「ジョグ」できます。これらのボタンのいずれかをタップするたびに、Move はその方向に 5 フィート移動します。

ナビゲーションモード

Move には、コンパスヘディングとベクトルヘディングの 2 つのナビゲーションモードがあります。コンパスヘディングはデフォルトのナビゲーションモードです。デフォルトのナビゲーションモードはアプリで変更できます。ナビゲーションモードがオンのときに Move を操作すると、新しい方角が設定されます。ナビゲーションモードでは、Move リモートを使用して設定できます。ナビゲーションモードでは、情報ディスプレイとナビゲーションヘッドのナビゲーションLED  が青緑色になります。

・コンパスヘディング

コンパスヘディングモードでは、ナビゲーションヘッドは常に、設定した方位を正確に指します。ただし、風と水流は船の行路に影響を与えます。



・ベクトルヘディング

ベクトルヘディングモードでは、ナビゲーションヘッドは設定された方向に正確に直進します。コンパスヘディングとは異なり、ベクトルヘディングモードでは、風や海流に関係なく、ボートは直進します。

アクティブヘディング

アクティブヘディングフットボタンをダブルタップすると、プロペラ (現在の設定速度) とナビゲーションモードの両方がオンになります (シングルタップではアクティブヘディングはオンになりません)。




注意: アプリでの設定に応じて、コンパスヘディングまたはベクトルヘディングのいずれかになります。

情報ディスプレイとナビゲーションヘッドのナビゲーションモードLED  が青緑色に点灯します。情報ディスプレイのプロペラアイコン  LED は緑色に点灯し、ナビゲーションヘッドLED も緑色に点灯します。アクティブヘディングで操縦すると、MOVE はアクティブヘディングモードに留まり、ヘディングが更新されます。

アクティブヘディングモード中:

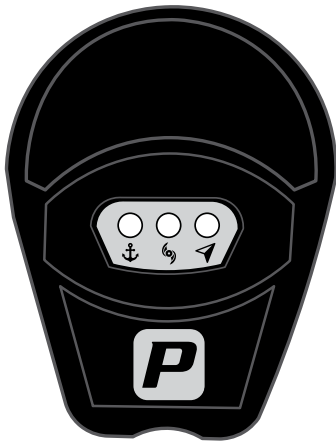
フットペダルの Momentary On ボタン、Move リモートの Prop ボタンまたは Navigation ボタン、または Active Heading Foot ボタンを押すと、プロペラとナビゲーションモードの両方がオフになり、アクティブヘディングモードが解除されます。

リバース

プロペラが逆回転します。プロペラ速度は情報ディスプレイに表示され、ハイブリッドリモートで調整できます。情報ディスプレイのプロップアイコン  オレンジ色に点灯し、ナビゲーションヘッドLED はオレンジ色に点灯します。設定速度は 10 に設定されています。リバースをオンにすると、リバース速度を変更できます。設定速度は 10 に設定されています。リバースをオンにすると、ハイブリッドリモコンボタンの   で、リバース速度を変更できます。ユニットがリバースモードから解除されると、電源を切るまでは最後に使用した速度設定が保存されますが、電源を切ると 10 に戻ります。

注意: リバースは、プロペラを損傷しない、オープンウォーターまたは柔らかいベジテーションのあるエリアでのみ使用してください。

ナビゲーションヘッドLED



LED	名称	機能
	アンカーロック	アンカーモード オン
	プロペラ	プロペラ オン、前進
		プロペラ オン、後進
	ナビゲーションモード	コンパスヘディング オン
		ベクトルヘディング オン

その他のナビゲーションヘッドLED機能

すべてのLEDが青緑色に点滅: MOVEはベアリングモードです

すべてのLEDが赤く点滅: エラー (詳細については簡易ディスプレイを確認してください)

すべてのLEDが黄色に点灯: 起動中

すべてのLEDが紫色に点滅: 起動中

ワイヤレスハイブリッドリモコンの使用

ハイブリッドリモコン機能の概要

リモコン バッテリーレベル インジケーター

ハイブリッドリモコン LED は、リモコンのバッテリー レベル インジケーターとして機能します。ボタンを押すと、バッテリーレベルに応じて LED が赤、黄、緑のいずれかに点滅します (赤は残量が少なく、緑は充電中)。

ハイブリッドリモコンの充電

ハイブリッドリモコンは充電クレードルにカチッとハマります。クレードルに収納することも、取り外して使用することもできます。リモコンを取り外すには、片側をつかんでクレードルからしっかりと引き出します。

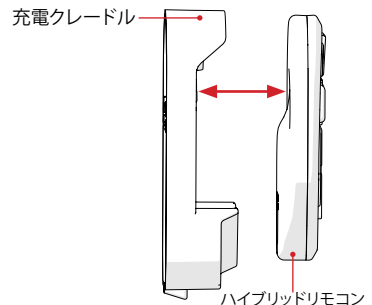
充電中、電池残量が少なくなるとリモコンの LED が赤く点滅し、半分ほど充電されると黄色に、フル充電に近づくと緑色に点滅し、完全に充電されると緑色に点灯します。

充電温度についての制約

損傷を避けるため、ハイブリッドリモコンは極端な高温または低温では充電されません。リモコン LED が赤色に点灯している場合は、高温すぎる (45°C) ことを示し、青色に点灯している場合は、低温すぎる (0°C) ことを示します。

ファームウェア アップデート

リモコンにアップデートをダウンロードしている間、LEDはゆっくりと赤く点滅します。リモコンにアップデートをインストールしている間、LEDは赤と緑で断続的に点滅します。アップデートがインストールされるとLEDは消灯します。



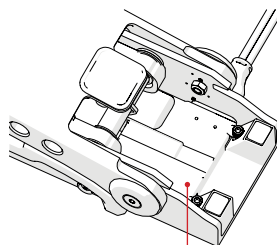
ワイヤレスハイブリッドリモコンの使用

ハイブリッドリモコン機能の概要 (続き)

ペアリングの手順

注意:リモコンは2フィート以内にある必要があります。ベース PCB のペアリングを開始します。

すべてのリモコンは MOVE に事前にペアリングされています。ただし、リモコンをペアリングする必要がある場合は、◀と▶を同時に押します。これにより、6秒間のペアリングウィンドウが開きます(MOVEから音が鳴り続け、ヘッドユニットの3つのLEDが断続的に青緑色に点滅します)。次に、▲| ▼|を同時に押します。リモコンがペアリングされると、MOVEのビーブ音が2回鳴ります。



ベースPCB

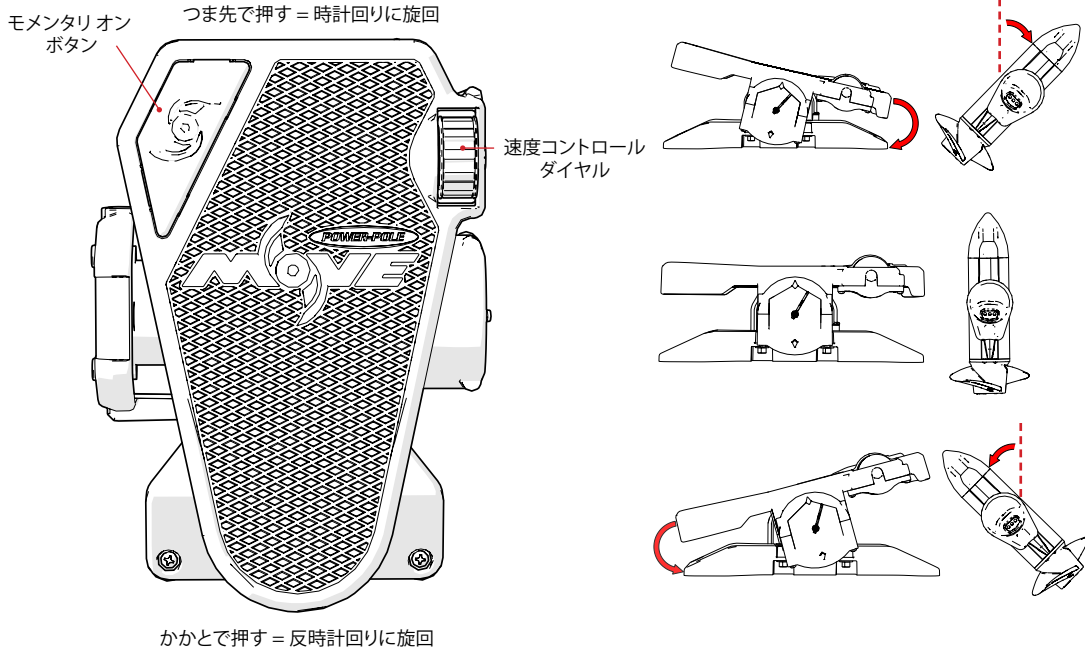
ハイブリッドリモコンボタンの機能

ボタン	名称	機能
	アンカーモード	⚓をタップするとアンカーモードがオンになり、⚓または🔍をタップするとアンカーモードがオフになります。
	ナビゲーションヘディング	🔍 ナビゲーションヘディングモードがオンになります。🔍または⚓をタップするとナビゲーションヘディングモードが解除されます。
	スピードアップ	⏩をタップするとトロリングモーターのスピードが上がります。速度は情報ディスプレイに表示されます。(情報ディスプレイについては34ページを参照) この速度は、ユニットのすべての機能とモードに適用されます。
	スピードダウン	⏪をタップするとトロリングモーターの速度が下がります。速度は情報ディスプレイに表示されます。(情報ディスプレイについては34ページを参照) この速度は、ユニットのすべての機能とモードに適用されます。
	左方向へ	◀を押し続けると、プロップモーターが反時計回りに回転し、MOVEを左方向に操縦します。◀を離すとプロップモーターの回転は止まります。
	右方向へ	▶を押し続けると、プロップモーターが時計回りに回転し、MOVEを右方向に操縦します。▶を離すとプロップモーターの回転は止まります。
	リバースプロップ	⏮をタップすると、リバースモードになります。⏩と⏪ ボタンをリバース中にタップすると後進の速度を調整できます。⏮、⚓、または🔍をタップするとリバースモードがオフになります。
	アンカーダウン	▼ を押し続けるとアンカーが展開されます。ダブルタップすると、自動展開します。
	アンカーアップ	▲ を押し続けるとアンカーが収納されます。ダブルタップすると自動収納します。
	プロップオン・オフ	🌀をタップすると、プロップがオンになります。🌀が再度タップされるまでオンのままです。MOVEがリバースモードの時に🌀をタップするとプロップがオフになります。

REAL-FEEL™フットペダルの使用

フットペダルの用語

フットペダルは、トロリングモーターの方向、トロリングモーターの速度のコントロール、およびプロペラの操作に使用されます。フットペダルのレイアウト、特徴、および機能については以下をお読みください。



モメンタリオン ボタン

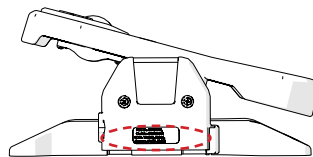
モメンタリオン ボタンを長押しすると、プロペラがオンになります。ボタンを押している間、プロペラは動作し続けます。ボタンを放すと、プロペラは停止します。

速度コントロール ダイヤル

速度コントロール ダイヤルは、プロペラの回転速度を制御します。速度コントロール ダイヤルを時計回り(前方)に回すと速度が上がります。速度コントロール ダイヤルを反時計回り(後方)に回すと、速度が低下します。速度が増減する度に、フットペダルはピーブ音を1回鳴らします。速度は情報ディスプレイに表示されます

ペアリング手順

フットペダルは、Move とペアリングされた状態で出荷されます。ただし、フットペダルをペアリングする必要がある場合は、回路基板カバーの上にマグネットをかざします(図を参照)。これにより、10秒間のペアリングモードになります。この間、フットペダルは一定のピーブ音を発します。最後に、ハイブリッドリモコンの◀と▶を同時にタップして、Move をペアリングモードにします。ペアリングされると、フットペダルからチャイム音が鳴ります。



マグネットをこの部分にかざす

ワイヤレスフットボタンの使用

フットボタンの概要

フットボタンを使用して、アンカーモードとアクティブヘディングのオン/オフを切り替えることができます。アンカーモードフットボタンを1回タップすると、アンカーモードがオンになります。もう一度タップすると、オフになります。アクティブヘディングフットボタンを2回タップすると、アクティブヘディングがオンになります。



アンカーモード



アクティブヘディング

ペアリング手順

すべてのフットボタンは MOVE と事前にペアリングされています。ただし、フットボタンをペアリングする必要がある場合は、リモコンの◀と▶ボタンを同時にタップしてください。これにより、6秒間のペアリングモードになります(MOVE は等間隔の音を発生し、ヘッドユニットの3つのLEDが断続的にTEALに点滅します)。次に、ペアリングするフットボタンを押します。フットボタンのピープ音が2回鳴り、ペアリングが完了したことを示します。

フットボタンの電池交換

重要! 湿気の侵入を防ぐため、フットボタンとその周囲ができるだけ乾燥していることを確認してください。

- ステップ1 小さなマイナスドライバーをノッチに挿入してこじ開けます。
- ステップ2 基板上的ホルダーからバッテリーを取り外し、交換します。CR2032 3V リチウム コイン電池を使用します。
- ステップ3 基板を底部ハウジングにぴったりと置き、平らになっていることを確認します。
- ステップ4 フォームパッドを基板の上に置きます。
- ステップ5 プラスチックディスクをメンブレンに挿入します。図1
- ステップ6 タブがノッチに入るようにメンブレンを下部ハウジングに取り付けます。
- ステップ7 トップハウジングを所定の位置にカチッとはめ、底部ハウジングとの隙間がないように取り付けます。図3

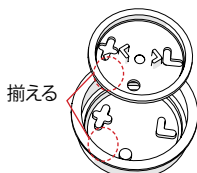


図1

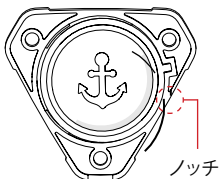
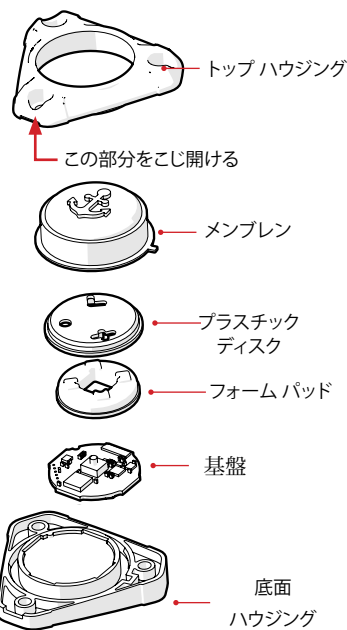


図2

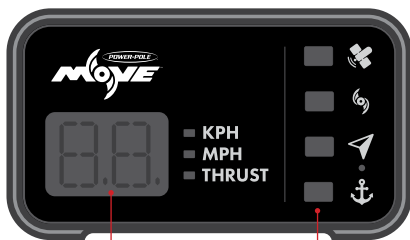


図3



分解図

ワイヤレス情報ディスプレイの見方



情報ディスプレイ

ステータス LED

情報ディスプレイ

情報ディスプレイは、推力、速度、エラーコードなどのさまざまな情報を表示するために使用されます。デフォルトでは、ディスプレイには 1 ~ 20 の間隔で推力が表示されます。

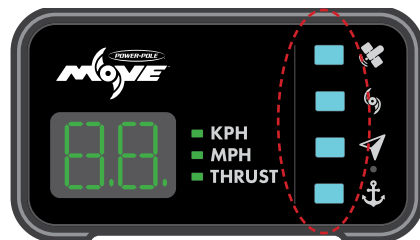
モーターの推進速度は推力、KPH、MPH (アプリで設定可能) によってコントロールできます。

LED	名称	機能
	GPS信号	青色点灯 ■ GPS信号 良好 青色点滅 ■ GPS信号 弱 黄色点滅 ■ GPS信号 無し
	プロペラ	緑色点灯 ■ プロペラ オン オレンジ色点灯 ■ リバース オン
	ナビゲーションモード	青緑色点灯 ■ ナビゲーションヘディング 紫色点灯 ■ ベクトルヘディング
	アンカーモード	黄色点灯 ■ アンカーモード オン

注意: バッテリーの構成と電圧によっては、速度設定が 20 まで上がらない場合があります。

ペアリング手順

情報ディスプレイは、Move にあらかじめペアリングされていますが、ディスプレイをペアリングする必要がある場合は、LED の上で磁石を上下に振ると、10 秒間のペアリングモードになります。この間、ディスプレイ LED は図のように点滅します。最後に、リモコンの ◀ と ▶ を同時にタップし、Move をペアリングモードにします。ペアリングが完了すると、ディスプレイのピープ音が 2 回鳴ります。



ペアリングモードのLED

POWER-POLE アプリ

POWER-POLE アプリ

Move は箱から出してすぐに使用できる状態ですが、Power-Pole アプリで Move を使用すると、さらに優れたエクスペリエンスが得られます。

コントロール

遠隔機能を使用して、Power-Pole アプリからすべてのデバイスを制御します。このアプリは、物理リモコンで利用できるのと同じ機能を備えた仮想リモコンとして使用できます。

構成、設定

Power-Pole アプリを使用すると、Move のすべての機能とアクセサリを革新的にコントロールできます。プロペラの加速からステアリングの強さまで、すべてを自分のニーズに合わせて調整できます。

Power-Pole アプリを Move と併用すると、真にカスタマイズされた釣り体験が実現します。

モニター

すべての Power-Pole 製品のステータスを 1 か所で監視します。接続、ファームウェアのバージョン、モデル、シリアル番号などの製品ステータス情報を簡単に検索できます。

診断

Power-Pole アプリには診断機能が組み込まれており、カスタマー サービス チームが迅速かつ効果的な解決策を提供できるため、お客様はできるだけ早く水上に戻ることができます。

アップデート

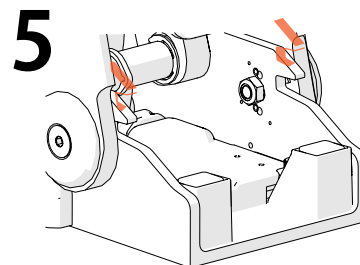
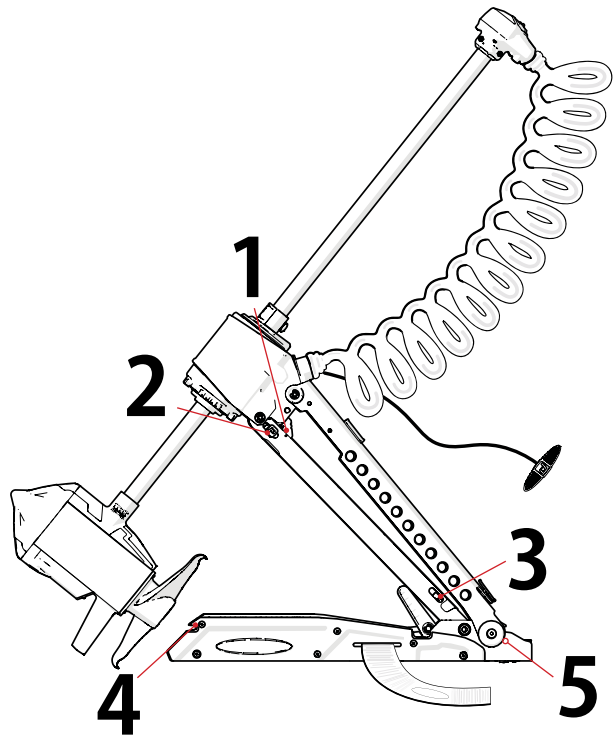
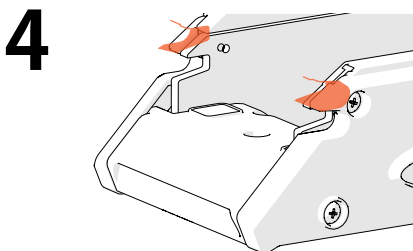
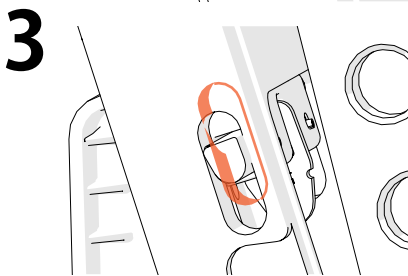
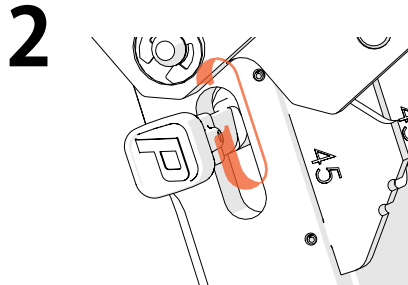
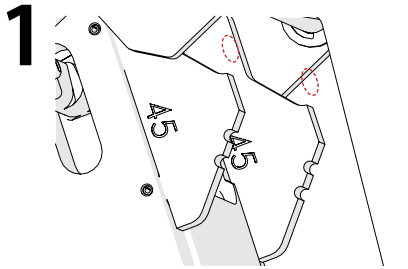
当社は常に製品の改善に取り組んでいます。ファームウェアを最新の状態に保つことで、Move を最大限に活用することができます。Power-Pole アプリを使用すると、Move やそのリモコンのアップデートを見逃すことはありません。

メンテナンスと保管

これらのメンテナンスと保管のヒントに従って頂くと、Move トローリング モーターを最大限に活用し、寿命を延ばすことができます。

機械の点検とメンテナンス

- Move を 0°F 以下で保管しないでください。
- 長期間保管する場合は、ムーブを要素の外に保管すると、外観をキープしやすくなります。
- 長寿命とスムーズな動作を確保するために、次の箇所にグリースが適切に塗布されていることを確認してください。グリースがない場合は、以下の箇所に万能グリースを塗布してください。



メンテナンスと保管

年に一度の点検とメンテナンス

PCB を点検し、必要に応じて誘電体グリースを塗布してください。以下の手順に従ってください。

ステップ1 ユニットの電源を外します。

ステップ2 トローリングモーターを展開します。

ステップ3 3/16" 六角レンチを使用して、バンパーとウォーターシールドを固定している2本のネジを取り外します。

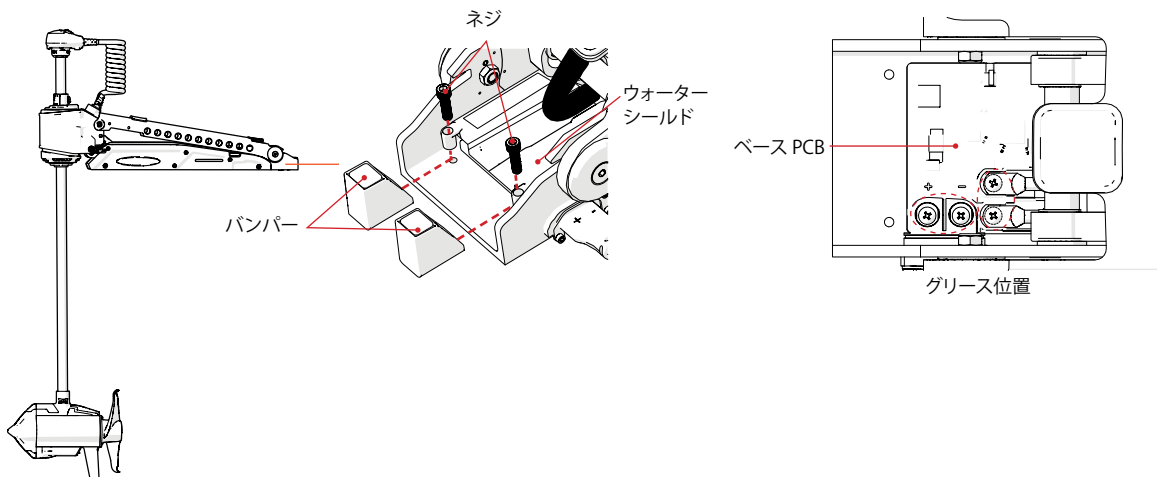
ステップ4 2つのバンパーを取り外し、ウォーターシールドを持ち上げて外します。

ステップ5 ベース PCBのすべての端子に絶縁グリースをたっぷりと塗布します。図2

ステップ6 ウォーターシールドを所定の位置に取り付けます。

ステップ7 バンパーを所定の位置にスライドさせ、ウォーターシールドの取り付け穴がバンパーの取り付け穴と揃うようにします。図1

ステップ8 3/16"の六角レンチを使用して2本のネジを取り付け、20インチポンドで締めます。図1



バッテリーのメンテナンスと点検

- 常に手袋やメガネなどの適切な安全装備を着用してください。
- バッテリー製造元のメンテナンス手順に従ってください。
- すべてのバッテリー接続を点検してください。緩んでいる場合は、バッテリー接続を締めてください。
- バッテリー端子に汚れ、油、腐食がないか確認してください。汚れている場合は、水と重曹の溶液を使用して端子を清掃してください。清潔な布で乾かしてください。清掃の方法はバッテリーメーカーの指示に従ってください。
- ワイヤーに切れ目や擦り傷がないか確認してください。問題がある場合は、JL Marine Systems Inc. 1+(813) 689-9932 オプション2までご連絡ください。コードの損傷が見つかりました。コードが損傷していると、感電や感電死の原因となります。
- すべてのバッテリーに目に見える損傷がないか点検してください。バッテリーの穴、膨張、歪みなどが損傷の

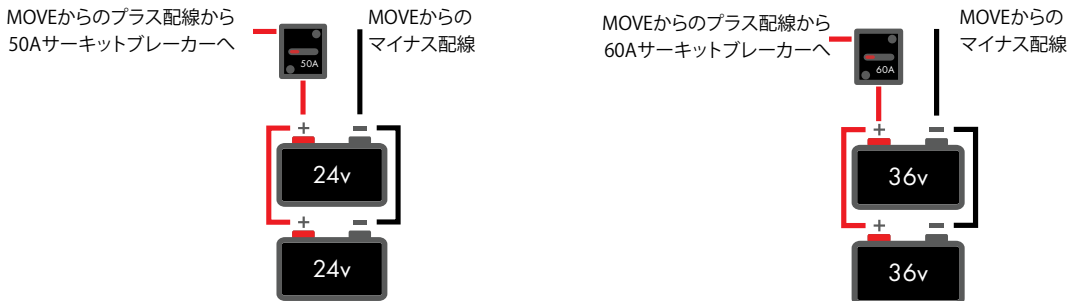
よくある質問

Q: Move にはどのくらいのサイズのサーキットブレーカーが必要ですか？

A: 36V セットアップに配線する場合は、60 アンペアのサーキットブレーカーを使用する必要があります。24V セットアップに配線する場合は、50 アンペアのサーキットブレーカーを使用する必要があります。配線の詳細については、(p. 23-25) を参照してください。

Q: 複数のリチウム電池を並列に配線して Move に配線できますか？

A: はい。Move は、並列に配線された24Vまたは36Vリチウム バッテリー バンクに接続できます。以下の図に従ってください。



Q: Move を 24V または 36V システムで使用するようにはどうすればよいですか？

A: Move は、追加の設定やプログラミングなしで 36V または 24V のバッテリーシステムで動作するように独自に設計されています。指示に従ってトローリング モーターを配線するだけで、Move はすぐに使用できます。

Q: 36Vシステムに接続されたMoveと24Vシステムに接続されたMoveではパフォーマンスに違いがありますか？

A: 24V システムでは17前後が最速、36Vシステムでは約20が最速になります (これらの速度は保証されておらず、バッテリーの状態によって変わる場合があります)。アンペア数の引き込みも 24V システムと 36V システムで異なります。

Q: ディスプレイに最高速度が表示されていますが、ボタンを押さないのにすぐに速度が落ちるのはなぜですか？

A: バッテリーが弱っている場合に起こることがあります。電圧が十分にあると、より高速な速度を表示できますが、モーターが電力を消費し始め電力が不足すると、電圧が低下し、達成可能な最大速度が変化する可能性があります。

Q: トローリングモーターを使用すると最高速度が低下するのはなぜですか？

A: これはバッテリーの種類によって異なります。リチウム バッテリーの場合、トローリング モーターは使用サイクル全体にわたって最高速度に近い速度で動作するでしょうし、バッテリーが切れると突然速度が低下します。AGMや鉛蓄電池などの他の種類のバッテリーの場合、バッテリーが消耗するにつれて最高速度は徐々に低下します。

Q: Move には保証が付いていますか？

A: Move にはシャフトに生涯保証、その他のすべてのパーツに 3 年間の保証が付いています。保証の詳細については、このマニュアルの 5 ページをご覧ください。

Q: Moveの重さはどれくらいですか？

A: 製品の重量はモデルによって異なります。製品の重量の詳細については、付録 D (43 ページ) を参照してください。

Q: Move のアンペア消費量はどれくらいですか？

A: アンペア消費量は、推力レベルと、Moveが24Vシステムで動作しているか36Vシステムで動作しているかによって異なります。アンペア消費量の詳細については、付録D(43 ページ) を参照してください。Move は、緑色でハイライトされた推力レベルで動作しているときに最も効率的です。

よくある質問

Q: アンカーモード/ナビゲーションモードの動作が不安定になるのはなぜですか？

A: GPS信号が妨害されている可能性があります。ヘッドの近くに大きな金属片がないこと、また近くに磁石がないことを確認してください。ナビゲーションヘッドから数フィート以内に磁石があると、GPS信号に干渉します。信号を妨害するものがない場合は、ナビゲーションヘッドの回路基板を再調整の方がよいでしょう。これは、Power-Poleアプリで実行できます。

Q: アンカーモードがアグレッシブすぎる/アグレッシブさが足りないのはなぜですか？

A: アンカーモードはPower-Poleアプリで設定できます。最適な動作のためには、推進モーターが少なくとも水面より12インチ下にあることを確認してください。

Q: Power-Pole シャローウォーターアンカーを持っていないのに、リモコンにボタンがあるのはなぜですか？

A: 熱心な釣り人の多くは、GPS トローリングモーターとシャローウォーターアンカーを組み合わせ、ボートを最適にコントロールしながら様々な状況で魚を追いかけています。チームPower-Poleアングラー達は、ボートに搭載されたPower-Pole製品すべてを1つのリモコンでコントロールしたいと考えたため、アンカーボタンがリモコンに統合されました。

Q: ディスプレイにランダムな数字が表示されるのはなぜですか？

A: Moveがアップデート中、またはディスプレイにエラーコードが表示されている可能性があります。

Q: Moveは使用していないときにバッテリーを消耗しますか？

A: 他のデバイスと同様、使用していないときは主電源遮断スイッチをオフにするか、電源を切ることをお勧めします。Moveのアクセサリは若干の電力を消費します。詳細については、付録D(43ページ)を参照してください。

Q: トローリングモーターのワイヤーを延長する場合に推奨されるワイヤーゲージは何ですか？

注意: 延長電源ワイヤーの長さは、バッテリーからトローリングモーターのリード線までの距離を指します。

トローリングモーターモデル	延長電源ワイヤーの長さ (ft)					
	5	10	15	20	25	30
PV or ZR, 24 or 36 VDC (最小ワイヤーゲージ)	8 AWG	8 AWG	8 AWG	8 AWG	8 AWG	8 AWG
PV or ZR, 24 or 36 VDC (推奨ワイヤーゲージ)	8 AWG	6 AWG	6 AWG	4 AWG	4 AWG	2 AWG

付録A ゲルコートの穴あけ手順



ボートのゲルコートに穴を開ける場合は、必ずこの手順に従ってください。この手順に従わないと、ボートのゲルコートが欠けたり割れたりする可能性があります。

- ステップ1 穴を開ける部分を青いマスキングテープで覆います。
- ステップ2 先の細いマーカでマスキングテープに穴の印を付けます。
- ステップ3 1/8"以下のドリルビットでパイロット穴を開けます。次に、それより1/16"大きいドリルビットを使用して再度穴を開けます。このプロセスを繰り返し、穴が希望の直径になるまでドリルビットのサイズを1/16"ずつ増やします。

付録B 配線接続/ターミネーション手順

ツール:

- ニトリル手袋
- ワイヤーストリッパ
- 圧縮工具
- ヒートガン



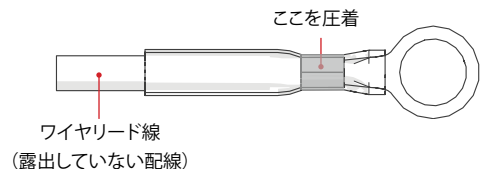
作業する配線の電源がオフになっていることを必ず確認してください。リング端子やバットコネクタを通電中の配線に接続しないでください。

- ステップ1 接続するワイヤの絶縁体を剥き、ワイヤの約 1/4 インチが露出するようにします。
- ステップ2 露出したワイヤの端をすべてねじり、バットコネクタまたはリングターミナルに挿入します。

重要! ヒートシュリンクの端から絶縁されていないワイヤが露出していないことを確認してください。

- ステップ3 圧着工具を使用して、バットコネクタをワイヤに圧着します。

重要! リング端子またはバットコネクタに圧着による切れ目がないか確認し、ケーブルを軽く引っ張って適切に圧着されていることを確認します。圧着が不十分なコネクタや損傷したコネクタは防水シールを提供しません。これにより腐食や配線の故障が発生します。

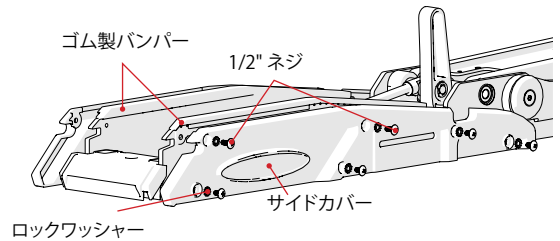


- ステップ4 ヒートガンを使用して、コネクタのヒートシュリンクをワイヤに「収縮」させます。気泡がないことと、コネクタがワイヤの絶縁体にぴったりと収縮していることを確認します。

付録C タイダウンストラップの取付け

カバーを取り外す

#2プラスドライバーを使用して、サイドカバーとゴム製バンパーをZRと繋げている6本のネジとロックワッシャーを取り外します。

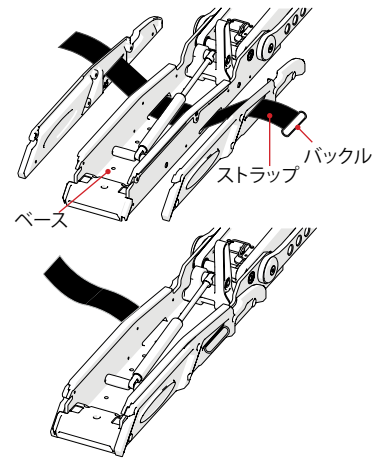


タイダウンストラップを通す

図のように、ストラップ (Power-Pole ロゴ側を上に向けて) をサイドカバーとベースに通します。

タイダウンストラップを引っ張りながら、サイドカバーを元の位置に戻します。バックルがサイドカバーに接するように、最後まで押し込みます。

#2 プラスドライバーを使用して、各サイドカバーに6本のネジとロックワッシャーを再度取り付け、しっかりと締めます。

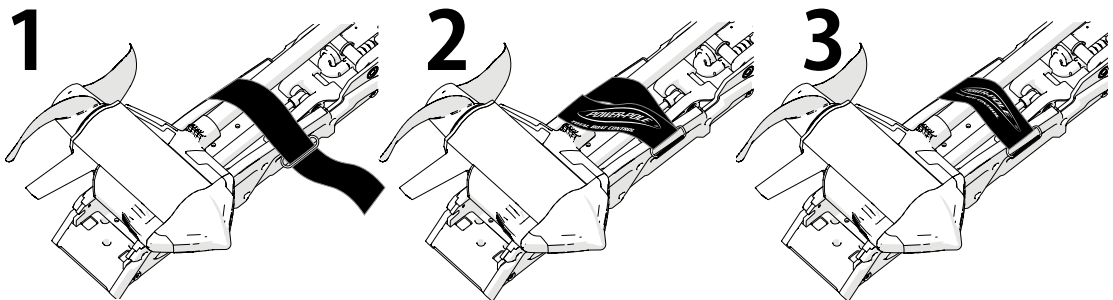


重要! 各カバーの一番上の2本のネジは長いネジ (1/2") です。

タイダウンストラップの使用

ストラップをシャフトの上に通し、バックルに通します。

ストラップをシャフトにぴったりと引っ張り、ベルクロを使用して固定しながらストラップをシャフト自体に巻き付けます。



レベルごとのアンペア消費量と推力

推力レベル	推力 (ポンド)	アンペア消費量 24v	アンペア消費量 36v
1	1	0.45	0.3
2	1.5	0.6	0.4
3	2	0.75	0.5
4	3.5	1.125	0.75
5	5	1.5	1
6	8	2.25	1.5
7	11	3	2
8	15.5	4.5	3
9	19	6	4
10	25	9	6
11	28	10.5	7
12	35	15	10
13	44	21	14
14	51	27	18
15	61	37.5	25
16	68	45	30
17	78	48	36
18	88		44
19	95		50
20	100		55

製品重量

モデル	重量
45 ZR	53 lbs.
52 ZR	54 lbs.
60 ZR	55 lbs.

注意: 緑色でハイライトされた推力レベルが最も効率的です。

アクセサリの電力消費

リモコン	モード	12V	24V	36V
充電クレードル	スタンバイ	10mA	5mA	3mA
-	充電中	120mA	60mA	43mA
シンプルディスプレイ	オン	39mA	18mA	12mA
-	スリープ*	7mA	3mA	1mA
フットペダル	スタンバイ	27mA	16mA	12mA

*ベース回路基板からの通信を受信せずに20秒経過すると、シンプルディスプレイは「スリープ」モードになります。

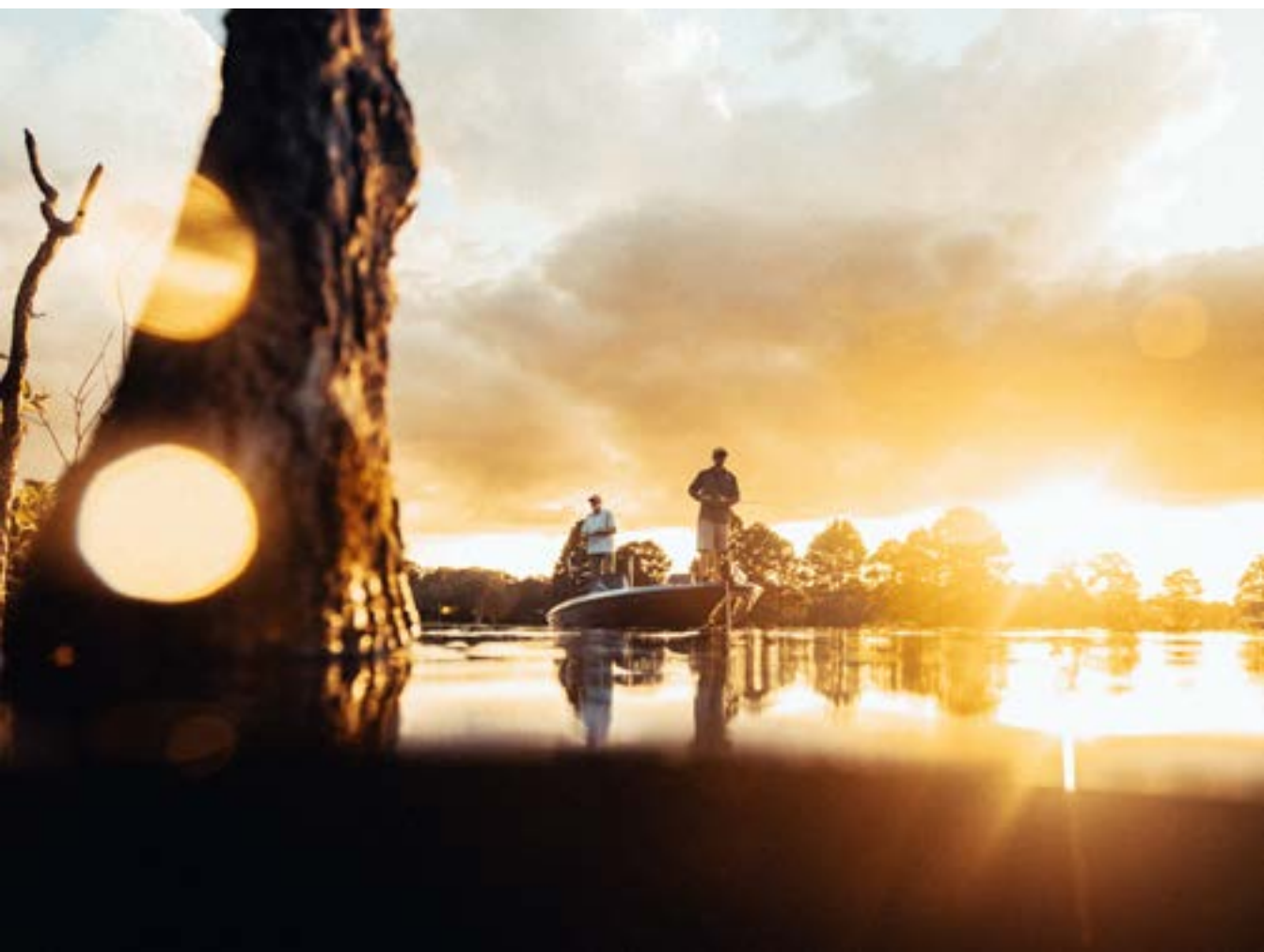
エラーコードを表示する

エラーコード	説明
A2	ナビゲーションヘッド回路基板がチェックインされていません
A3	ステアリング回路基板がチェックインされていません
A4	推進回路基板がチェックインされていません
A5	ステアリングモーターがチェックインされていません
C1	ステアリングキャリブレーションなし
C2	ナビゲーションヘッド回路基板コンパスキャリブレーションなし
C3	ベース回路基板コンパスキャリブレーションなし
C4	ナビゲーションヘッド回路基板のコンパスのキャリブレーション不良
C5	ベース回路基板のコンパスのキャリブレーション不良
C6	シャフトの滑りを検出
C7	ステアリングのキャリブレーション不良
E0	電源を入れた時にバッテリーが 16V 未満: 動作不可
E1	バッテリー電圧が10V未満; ユニットはオフになります
E2	ベース PCB ソリッド ステート リレーがオンにならなかった
E3	電源を入れた時の電圧が低い(ショートの可能性あり)
E4	動作中にバッテリーが16V未満
E5	電気分解を検出
F1	ステアリング電流なし
F2	ステアリング過電流
F3	ステアリングストール
F4	ステアリング過熱
G2	ナビゲーションヘッド回路基板のピングテスト失敗、通信不良
G3	ステアリング回路基板のピング テスト失敗、通信不良
G4	推進回路基板のピングテスト失敗、通信不良
H1	推進モーター回路基板過熱
H2	推進モーターの最大回転数が予想を下回っています
L2	ナビゲーションヘッドの回路基板の通信不良
L3	ステアリング回路基板の通信不良
L4	推進回路基板の通信不良

付録E エラーコードと更新LEDの色

ディスプレイ更新 LEDカラー

LEDカラー	説明
赤	ディスプレイ更新中
白	ナビゲーションヘッドサーキットボード更新中
紫	ステアリングサーキットボード更新中
青緑	推進サーキットボードの更新中
黄色	その他のアップデート

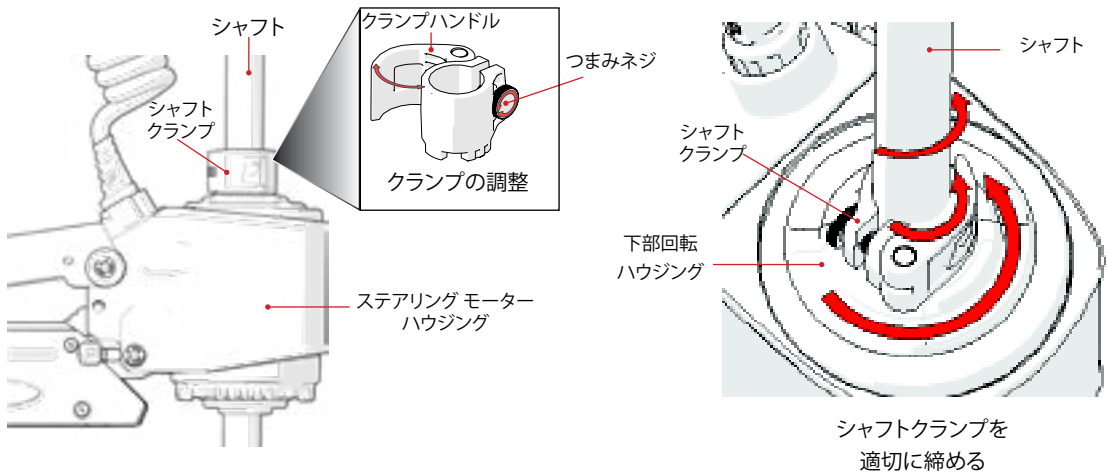


新しいMOVE™ ZRトローリングモーターを最大限に活用する

Move は箱から出してすぐに使用できますが、この新しいトローリングモーターを最大限に活用するためのヒントをいくつかご紹介します。

シャフトクランプが適切に締められていることを確認してください

シャフトクランプが適切に締められていないと、Move は意図した通りに動作しません。シャフトが自由に回転しないこと、またシャフトクランプと下部回転ハウジングもシャフトとともに回転することを確認してください。シャフトクランプが緩んでいる場合は、つまみネジを時計回りに回して、必要な締め付け具合にしてください。



初期起動時に起きること

ナビゲーションヘッドのLEDが前後に「ジグ」する間、情報ディスプレイはさまざまなパターン/色で点滅しますが、これは正常です。Moveは、すべての回路基板が「チェックイン」され、エラーがなく、使用できる状態であることを確認しています。すべてがチェックインされると、ナビゲーションヘッドが鳴り、情報ディスプレイにGPS信号の強度と速度設定が表示されます。

POWER-POLEアプリに接続する

Move は Power-Pole アプリなしでも使用できますが、アプリに接続するとさまざまな便利な機能が使用可能になり、完全にカスタマイズされたエクスペリエンスを実現できます。デバイスの App Store から Power-Pole アプリをダウンロードし、アプリ内の手順に従って Move を接続します。

バウ角度のオフセットを設定する

バウアングルのオフセットを設定すると、展開時に Move が常にボートと一直線に向くようになります。バウアングルのオフセットは、アプリの「設定」タブで設定できます。アプリ内の指示に従ってバウアングルのオフセットを設定してください。

ベース回路基板の調整

Move トローリング モーターはすべて工場調整済みで、すぐに使用できますが、電子機器の近くに取り付ける場合は、再調整が必要になる場合があります。最良の結果を得るには、取り付け後に Move のベース回路基板を再調整してください。ベース回路基板の調整は、アプリの [設定] タブで行うことができます。アプリ内の指示に従って、ベース回路基板を調整してください。



Need help? Contact our Customer Service Team at
+1 813.689.9932 option 2

9010 Palm River Road, Tampa, Florida 33619
Phone 1+(813) 689-9932 Fax 1+(813) 689-8883
www.power-pole.com